

Telereader (TM), Terminal Node Controller

\*\*\* DSP搭載 多機能TNC (1996年)\*\*\* MODEL TNC-555

タスコ電機株式会社 (TASCO Electronics Co., Ltd.)

-----  
A B C順のコマンド詳細説明 ( MODEL TNC-555 )  
-----

目次	行
nM	(n MACRO) 0211
8BITCONV	(8 BIT CONVERSE) 0264
ADAPTIVE	0295
ADJUST	0322
AFILTER	0348
ARQTIME	0388
ASBAUD	(ASCII BAUDRATE) 0412
ASELCAL	0435
ASPECT	0460
AUTOLF	(AUTO LINE FEED) 0487
AUTOS	0515
AUTOSTOP	0541
AWLEN	(A WORD LENGTH) 0567
AX25L2V2	(AX.25 LEVEL2 VERSION2.0) 0595
AXDELAY	0626
AXHANG	0650
BBSMSGS	0682
BEACON	0731
BKONDEL	0767
BTEXT	(BEACON TEXT) 0797
BUDLIST	0832
CALIBRA	(CALIBRATE) 0856
CALL	0882
CANLINE	(CANCEL LINE) 0909
CANPAC	(CANCEL PACKET) 0930
CBELL	(CONNECT BELL) 0954
CHECK	0982
CMDTIME	(COMMAND TIME) 1013
CMSG	(CONNECT MESSAGE) 1041
CMSGDISC	(CONNECT MESSAGE & DISCONNECTED) 1067
COMMAND	1108
CONMODE	(CONNECT MODE) 1134
CONNECT	1159
CONOK	(CONNECT OK) 1212
CONPERM	(CONNECT PERMANENT) 1243
CONSTAMP	(CONNECT STAMP) 1269
CONT	1294
CONVERSE	1319
CPACTIME	(CONVERSE PACKET TIME) 1347
CR	(CARRIAGE RETURN) 1374
CRLEN	1396
CRTTY	1421
CSTATUS	(CONNECT STATUS) 1444
CTEXT	(CONNECT TEXT) 1482
CW	(CONNECT TEXT) 1514
CWID	1534
DAYSTAMP	1558
DAYTIME	1583

DAYUSA		1611
DELAY		1633
DELETE		1657
DELETEDB		1676
DIDDLE		1700
DIGIPEAT		1722
DISCONE		1759
DISCONNE	(DISCONNECT)	1787
DISPLAY		1822
DTEXT	(DISCONNECT TEXT)	1883
DWAIT	(DIGIPEAT WAIT)	1916
ECHO		1943
ESCAPE		1968
FADJUST		1992
FDOT		2021
FIGADD		2060
FILE		2085
FIRMRNR		2104
FLOVER		2130
FLOW		2190
FRACK		2225
FSPEED		2256
FULLDUP	(FULL DUPLEX)	2279
HEADERLN		2310
HID	(HDLC ID)	2340
ID	(INDENTIFICATION)	2371
IDLE		2401
ITA#2		2423
K		2457
KILL		2492
KISS		2539
KNJ		2586
LCALLS	(LIST CALLS)	2615
LCOK		2641
LCSTREAM		2668
LFADD		2705
LFIGNORE		2730
LFTTY		2754
LIST		2777
LOCK		2796
LOG		2824
LOOP		2847
MAIL	(MAIL INDICATOR)	2875
MALL	(MONITOR ALL)	2908
MAXFRAME		2934
MBOD		2963
MCOM		2997
MCON	(MONITOR CONNECT)	3021
MEM		3042
MEM <sub>n</sub> (0~9)		3073
MFILTER		3100
MHCLEAR	(MONITOR HEADER CLEAR)	3132
MHEARD	(MONITOR HEADER)	3152
MINE		3180
MMUI		3199
MODE		3228
MONITOR		3301
MRCALL	(MONITOR RECEIVE CALL)	3331
MRPT	(MONITOR REPEATER)	3382
MSTAMP	(MONITOR STAMP)	3403
MTCALL	(MONITOR TRANSMIT CALL)	3435
MTEXT	(MESSAGE BOARD TEXT)	3494

MTR		3531
MYALIAS		3557
MYCALL		3594
MYMCALL		3637
NEWMODE		3692
NOMODE		3740
NUCR		3766
NULF		3791
NULLS		3816
PACLEN	(PACKET LENGTH)	3841
PACTIME		3875
PARITY		3901
PASS		3930
PASSALL		3960
PERSIST		3991
PPERSIST		4015
PTT		4044
RADIO		4070
RAMTEST		4092
RAND		4113
READ		4134
RECONNEC	(RE-CONNECT)	4154
REDISPLA	(RE-DISPLAY)	4177
RELINK		4201
REPT		4231
RESET		4258
RESPTIME		4277
RESTART		4302
RETRY		4322
ROUTE		4362
RSFLOW		4388
RTBAUD		4419
RTTY		4448
RXBLOCK		4468
RXDELAY		4509
RXREV		4539
SCREENLN		4563
SELALL		4583
SELCAL		4603
SEND CW		4624
SENDOK		4644
SENDPAC		4665
SENDTTY		4686
SHIFT		4706
SLOTTIME		4739
SOFTDCD		4761
SPACELEN		4784
SPEED		4808
START		4833
STBYTIME		4862
STOP		4887
STREAMCA		4918
STREAMDB		4942
STREAMSW		4968
TCLEAR		5004
TECHO		5027
TIME		5050
TOUT		5083
TRACE		5110
TRANS		5134
TRFLOW		5160
TRIES		5190

TTY	5214
TUNE	5251
TXDELAY	5275
TXFLOW	5306
TXREV	5337
TXUIFRAM	5361
UNPROTO	5394
USERS	5425
USOS	5455
WAIT	5475
WEIGHT	5494
WRITE	5523
XFLOW	5557
XMITOK	5603
XOFF	5627
XON	5649

メッセージ一覧表	5673
HEALTHカウンターについての説明	5777
ASCII, JISコードと制御文字対応表	5861
新しいKISSモードについての説明	5955

※クラスとは、「DISP ?(?(の所をクラス名にする)」コマンドで表示されることを示しています。  
 クラス D だけは、「DISP」コマンドで表示されません。Dは、ダイレクトコマンドであることを示しています。

nM	(n MACRO)	パケットモード専用	0211
略語:	nM	初期設定:	なし
		クラス:	D

コマンド書式: n(0~4)M [テキスト文(最大半角119文字)]

パラメーター: n … マクロの番号を設定します。(n=0~4)  
 [テキスト文] … マクロで実行するテキスト文を、半角119文字以内で書き込みます。

文 例: OM C JA1+++  
 3M M N/X Y/F N/FL 6/RS N/STA 0/STO 0  
 4M M Y/F Y/STA \$11/STO \$13

関連コマンド: なし

説明: TNC-555には、マクロ機能があります。0から4までの5つのマクロが使用できます。

コマンドプロンプトから、実行するマクロの数字を入力し、[リターン(Enter)]キーを押すと、マクロを実行することができます。

マクロの書き込みは、「CTEXT」コマンドなどのテキスト文の書き方と同じです。消去の方法も、テキスト文の先頭に[%]または[&]を入力します。各マクロには、最大半角119文字まで入力できます。

例) 1M C JA1+++-1 V JI1\*\*\*  
 上記は、マクロ1に、JI1\*\*\*をデジピートしてJA1+++-1に接続することを設定したものです。キーボードから[1]と入力して、[リターン(Enter)]を押せば、このマクロを実行し接続要求のパケットが送信されます。



文 例： ADAPTIVE ON  
AD OF

関連コマンド： HBAUD

説明： TNC-555には、無線機の受信特性を自動的に補正する、自動等  
化機能が装備されています。

無線機の受信特性が、パケット通信に適していない場合などに、有効  
です。なお、このコマンドはFSK運用時のみ有効になります。

自動等化機能は、受信側で受信特性を補正する機能ですが、万能では  
ありません。この機能を [ON] にすることで、必ずしも通信条件がよ  
くなるとは限りません。

-----  
ADJUST TTYモード (AMTOR/TOR) 専用 0322  
-----

略語： AD 初期設定： 8000 クラス： B

コマンド書式： ADJUST n(0~65535)  
AD n(0~65535)

パラメーター： n … TTYモード (AMTOR/TOR) 動作時の基準時間のためのクロックの  
調整をおこないます。

文 例： ADJUST 7800  
AD 2500

関連コマンド： FADJUST

説明： TNC-555には、メインクロックの調整用トリマーコンデンサが  
ありません。正確なクロックが必要なモード (AMTOR/TOR) では、このパ  
ラメーターで補正をして下さい。

AMTORモードで補正値がずれている場合は、同期が外れやすくなります。  
長時間運用をする場合は、この構成が必要です。1度設定をすれば、変  
える必要はほとんどありません。

-----  
AFILTER パケットモード専用 0348  
-----

略語： AF 初期設定： \$00 クラス： L

コマンド書式： AFILTER n1, n2, n3, n4  
AF n1, n2, n3, n4

パラメーター： n1, n2, n3, n4 … コンバースモードでコネクしている時に、受信パ  
ケットの中から除去する制御コード (n1~n4) を設定  
します。

文 例： AFILTER \$1A  
AF \$05, \$1A

関連コマンド： MFILTER

説明： 受信パケットを表示する都合上、送信してもらっては困る制御コード  
がある場合があります。特にコントロールキャラクターコードには注

意が必要で、表示がおかしくなったり、パソコンの暴走やハングアップをすることがあります。

このような場合、前もって取り除きたい文字を設定しておく、設定した文字コードを受信するたびに、取り除くことができます。最大4文字まで設定できます。なお、複数の文字コードを設定する場合は、カンマで区切って入力します。

「\$80」を設定すると、「CR」と「LF」以外のコントロールキャラクターコードをすべて取り除きます。通信をしている最中に、突然パソコンが異常な表示をする場合には、「\$80」の設定することをお勧めします。

コンバースモードでコネクしている時の受信パケットに対してのみ動作し、トランスペアレントモードでコネクしている時やモニター中の受信文字に対しては動作しません。モニター中のデータに対しては「MFILTER」コマンドを使います。

「AFILTER 0」で解除できます。

※ BBS用(特に転送型のBBS用)のTNCとして使用されるときは、「AFILTER 0」に設定し、この機能を解除しておいた方が無難です。

-----  
ARQTIME TTYモード (AMTOR/TOR) 専用 0388  
-----

略語: ARQ 初期設定: 32 クラス: B

コマンド書式: ARQTIME n(0~120)  
ARQ n(0~120)

パラメーター: n ... AMTORのARQモードでSELCALを送信する回数を設定

文 例: ARQTIME 32  
ARQ 100

関連コマンド: SELCAL

説明: AMTORのARQモードで、SELCALを送信する回数を設定します。  
通常は変更する必要はありませんが、もし変更する場合は設定値を[32]以上に設定したほうが良いでしょう。  
なお、設定値1当たり、0.9秒で換算します。

-----  
ASBAUD (ASCII BAUDRATE) TTYモード (ASCII) 専用 0412  
-----

略語: ASB 期設定: 110 クラス: B

コマンド書式: ASBAUD n(75, 100, 110, 150, 200, 300)  
ASB n(75, 100, 110, 150, 200, 300)

パラメーター: n ... ASCIIモードの通信速度を75, 100, 110, 150, 200, 300のいずれかに設定します。

文 例: ASBAUD 75  
ASB 110

関連コマンド: RTBAUD

説明: RTTYのASCIIモードで使用する送受信ボーレートを設定し





コマンド書式 : AUTOLF ON/OFF  
AU ON/OF

パラメーター : ON … 「CR」コードの後に「LF」コードを付加する。  
OFF … 「CR」コードの後に「LF」コードを付加しない。

文 例 : AUTOLF ON  
AU OF

関連コマンド : LFADD, RXBLOCK

説 明 : ターミナルに「CR」コードを送る場合には、「CR」に続き「LF」コードを付加します。「CR」のみで改行できるターミナルを使用している場合は、[OFF] にします。このコマンドは表示する文字に対してのみ有効で、パケットに対する影響はまったくありません。

通信パケットに「LF」を付加する場合には、「LFADD」コマンドを使用します。「RXBLOCK」コマンドを [ON] にするときには、「AUTOLF」は [OFF] に設定してください。「AUTOLF」を [ON] のままで「RXBLOCK」コマンドも [ON] にすると、ブロックレングスに誤差が生じます。

---

AUTOS WAFX モード専用 0515

---

略語 : AUTOS 初期設定 : 5 クラス : B

コマンド書式 : AUTOS n(0~64)

パラメーター : n … オートスタート/オートストップのON/OFFのための判断行数設定をおこないます。

文 例 : AUTOS 0  
AUTOS 5

関連コマンド : なし

説 明 : 「0」を設定すると、オートスタート/オートストップをおこないません。

「0」以外では、オートスタートをおこなうと共に、設定した行数の連続した白信号を受信すると、受信を自動的に終了します。

なお、オートスタートは5%の白信号により起動します。この信号を出さない送信局や雑音（ノイズ）が多いときは、オートスタートができないときがあります。

---

AUTOSTOP TTYモード\* (5単位 Baudot, ASCII) 専用 0541

---

略語 : AUT 初期設定 : 0 クラス : B

コマンド書式 : AUTOSTOP n(0~120)  
AUT n(0~120)

パラメーター : n … 自動停止のエラー文字数を設定します。

文 例 : AUTOSTOP 10  
AUT 5

関連コマンド： なし

説明： TTYモード(BAUDOT, ASCII)受信の自動停止をする、エラー文字数の設定をおこないます。

受信したデータのエラーが、設定した文字数分累積するか、NNNNを受信すると受信を中止し、その後3文字分の正常なデータまたは、継続したマーク信号を受信することによって受信を再開します。

「0」を設定すると、自動停止機能は動作せず、常時受信状態となります。

---

AWLEN (A WORD LENGTH) 0567

---

略語： AW 初期設定： 8 クラス： A

コマンド書式： AWLEN 7/8  
AW 7/8

パラメーター： 7 … TNCとターミナル間のデータビットを7ビットにする。  
8 … TNCとターミナル間のデータビットを8ビットにする。

文 例： AWLEN 7  
AW 8

関連コマンド： 8BITCONV, PARITY, RESTART

説明： このビット長は、ターミナルの1文字が7ビットか8ビットかを設定します  
カナ・漢字を使用する場合には、8ビットに設定します。  
このコマンドの設定値は、「RESTART」コマンドを入力するか、あるいは1度電源を切って、再度、電源を入れたときに有効になります。

国産のパソコンを使用するときは、初期設定「8」のままで差し支えありません。

「RXBLOCK」コマンドを[ON]で使用するときは、「AWLEN」は「8」に設定してください。

---

AX25L2V2 (AX.25 LEVEL2 VERSION2.0) ネットモード専用 0595

---

略語： A 初期設定： ON クラス： L

コマンド書式： AX25L2V2 ON/OFF  
A ON/OF

パラメーター： ON … AX25 LEVEL2 Version2.0のプロトコルで動作する。  
OFF … AX25 LEVEL2 Version1.0のプロトコルで動作する。

文 例： AX25L2V2 ON  
A OF

関連コマンド： DIGIPEAT

説明： 弊社のTNCは、すべて[Version2.0(以下、V2)]で動作していますが、デジピートさせる場合、他局が[Version1.0(以下、V1)]で動作しているとデジピートできない場合があります。この場合には[V1]で使用します。









パラメーター： コマンド入力後、直ちに動作を開始するダイレクトコマンドです。

文 例： CALIBRA  
CAL

関連コマンド： なし

説 明： このコマンドはダイレクトコマンドです。コマンドの入力後、直ちに動作を開始します。

マークとスペースの周波数を50%デューティーで送出します。伝送路の周波数特性チェック、および内蔵モデムのRXBIASのチェック用の信号源として使用します。

※このコマンドの動作は、一度電源を切るか、キーボードから [A] を入力することによって解除できます。

-----  
CALL TTYモード (ARQ, S-FEC) 専用 0882  
-----

略語： CA 初期設定： - クラス： I

コマンド書式： CALL [CALL]  
CA [CALL]

パラメーター： [CALL]： ARQ, S-FECで、通信の相手のSEL CALを入力します。

文 例： CALL JBCD  
CA JXYZ  
CA %

関連コマンド： なし

説 明： ARQ及び、SEL-FECで通信の相手のSEL CALを入力します。

通常は、CTRL-AやCTRL-Tを実行することによって、自動的に設定モードになりますので、あらかじめ設定する必要はありません。

「%」を先頭に書き込むことで、消去できます。

-----  
CANLINE (CANCEL LINE) パケットモード専用 0909  
-----

略語： CAN 初期設定： \$18 (CTRL-X) クラス： C

コマンド書式： CANLINE n(0~\$7F)  
CAN n(0~\$7F)

パラメーター： n … TNCに送ったデータを一行分キャンセルさせるための文字コードを設定します。

文 例： CANLINE \$17  
CAN \$15

関連コマンド： TCLEAR

説明： このコマンドは、TNCに送ったデータを一行キャンセルする場合の  
コマンドを設定します。このコマンドで設定したキーを入力すると、  
[CR] を送る前の最後の一行全部がキャンセルされます。

---

CANPAC (CANCEL PACKET) パケットモード専用 0930

---

略語： CANP 初期設定： \$19 (CTRL-Y) クラス： C

コマンド書式： CANPAC n(0~\$7F)  
CANP n(0~\$7F)

パラメーター： n … 受信したパケットをキャンセルさせるための文字コードを設定  
します。

文 例： CANPAC \$19  
CANP \$19

関連コマンド： なし

説明： このコマンドは、受信したパケットをキャンセルする場合のコマンド  
を設定します。このコマンドで設定したキーを入力すると、受信した  
パケットはキャンセルされ、表示は何もおこないません。ただし、パ  
ケット送信待機中にはこのコマンドは受け付けません。

トランスペアレントモードでは、このコマンドは無効です。

---

CBELL (CONNECT BELL) パケットモード専用 0954

---

略語： CB 初期設定： OFF クラス： I

コマンド書式： CBELL ON/OFF  
CB ON/OF

パラメーター： ON … コネクトされるとTNCからターミナルへベルコードを送り  
ます。  
OFF … コネクトされてもTNCはターミナルへベルコードを送りま  
せん。

文 例： CBELL ON  
CB OF

関連コマンド： なし

説明： このコマンドを [ON] にすると、コネクトされたときにTNCがター  
ミナルに対してベルコード(\$07)を送ります。ターミナルは、ベルを  
鳴らして、コネクトされたことを知らせます。  
TNC自体がベルを鳴らすわけではありませんので、ベルを鳴らす機  
能がないワープロなどでは動作しません。

メッセージボード(「MYMCALL」)にコネクトされたときは、ストリーム  
があらかじめ、Kストリームに設定されていたときのみ動作します。

---

CHECK パケットモード専用 0982

---

略語： CH 初期設定： 30 クラス： T



コマンド書式 : CHECK n(0~250)  
CH n(0~250)

パラメーター : n … チェック時間を [n×10S] に設定します。 [0] の場合は、  
チェック動作は起こりません。

文 例 : CHECK 50  
CH 0

関連コマンド : AX25L2V2, TOUT

説 明 : コネク特している状態で [n×10 秒] の間、相手局のパケットが受信  
できないとき、「AX25L2V2」コマンドの設定状態によって、2種類の  
動作をします。

「AX25L2V2」コマンドが [ON] のときは、相手の存在を確認するた  
めのパケットを送信し、相手局からの応答が無ければディスコネク  
トします。

「AX25L2V2」コマンドが [OFF] のときは、相手の存在を確認する  
ためのパケットを送信することくディスコネクトします。

パラメーターとしては、[0] から設定可能ですが、変更するときは  
[6(1分)] 以上の設定にしてください。 [0] を設定するとチェック  
動作は起こりません。

---

CMDTIME	(COMMAND TIME)	パケットモード専用	1013
---------	----------------	-----------	------

---

略語 : CM 初期設定 : 1 クラス : T

コマンド書式 : CMDTIME n(0~250)  
CM n(0~250)

パラメーター : n … トランスペアレントモードからコマンドモードへ抜け出る時  
間を [n×1S] で設定します。

文 例 : CMDTIME 5  
CM 3

関連コマンド : COMMAND, TRANS

説 明 : このコマンドは、トランスペアレントモードから [n×1 秒] 後に、コ  
マンドモードに戻すためにあります。

トランスペアレントモードからコマンドモードに戻るためには、「COM  
MAND」コマンドで指定したキー(初期値 : CTRL-C)を3回入力すると、  
「CMDTIME」コマンドで設定した時間後に、コマンドモードに移行し  
ます。

[0] に設定すると、電源を切るのみでしか、コマンドモードに  
移行する方法がなくなります。

---

CMSG	(CONNECT MESSAGE)	パケットモード専用	1041
------	-------------------	-----------	------

---

略語 : CMS 初期設定 : OFF クラス : I

コマンド書式 : CMSG ON/OFF  
CMS ON/OF

パラメーター： ON … 「MYCALL」に接続されると、自動的に「CTEXT」、または、「DTEXT」に書き込まれたメッセージを送信します。  
OFF … 「MYCALL」に接続されてもメッセージは送信しません。

文 例： CMSG ON  
CMS OF

関連コマンド： CMSGDISC, CTEXT, DTEXT

説 明： このコマンドを [ON] にすると、「MYCALL」に相手から接続されたとき、「CTEXT」または、「DTEXT」に書き込まれたメッセージを自動的に送信します。

- ※ 「CMSGDISC」コマンドが [OFF] のときは、「CTEXT」を送信します。「CMSGDISC」が [ON] のときは、「DTEXT(書き込みされていないときは「CTEXT」)」を送信したのちに自動的にディスコネクトをします。

-----  
CMSGDISC (CONNECT MESSAGE & DISCONNECTED) パケットモード専用 1067  
-----

略語： CMSGD 初期設定： OFF クラス： I

コマンド書式： CMSGDISC ON/OFF  
CMSGD ON/OF

パラメーター： ON … 「MYCALL」に接続されると、自動的にディスコネクトします。  
OFF … 「MYCALL」に接続されても、自動ディスコネクトは起こりません。

文 例： CMSGDISC ON  
CMSGD OF

関連コマンド： CTEXT, DTEXT, CMSG

説 明： 「CMSG」コマンドが [ON] のときに、このコマンドを [ON] にすると「MYCALL」に相手から接続されたとき、自動的にディスコネクトします。ただし、「DTEXT」コマンドに書き込まれたメッセージがあるときは、「DTEXT」のメッセージを送信した後に、ディスコネクトします。「DTEXT」に何も書き込まれていないで、「CTEXT」コマンドに書き込まれているメッセージがあるときは、「CTEXT」のメッセージを送信後にディスコネクトします。

「CTEXT」と「DTEXT」のいずれにも何も書き込まれていないときは、メッセージを送信しないでディスコネクトします。

- ※ ディスコネクトの動作は、「CMSG」コマンドの「ON」／[OFF]に関係なく動作します。「CMSGDISC」を [ON] にしたときは、「CMSG」コマンドも必ず [ON] にしてください。（「CMSG」コマンドが [OFF] のときは、最初の情報パケットの伝送が終了した後にディスコネクトします。）
- ※ このパラメーターは、自局から他局に対して接続要求を出すと、自動的に [OFF] に設定されます。Kストリームを使って接続要求を送信しても同様に [OFF] になります。（ディスコネクトしても [OFF] のままです。）

-----  
COMMAND パケットモード専用 1108  
-----

略語： COM 初期設定： \$03 (CTRL-C) クラス： C

コマンド書式： COMMAND n(0~\$7F)  
COM n(0~\$7F)

パラメーター： n … 他のモードからコマンドモードへ移行するための文字コードを設定します。

文 例： COMMAND \$04  
COM \$02

関連コマンド： CMDTIME, CONVERSE, TRANS

説明： コンバースモード、トランスペアレントモードからコマンドモードに移行させるための文字コードを設定します。一般には、[CTRL-C]ですが、ターミナルの都合で [CTRL-C] が使用できない場合には、このコマンドでコードを変更してください。

※ ターミナルからTNCへ向けて、ブレイク信号(ターミナルのTXD出力を一定時間 [SPACEレベル] にする信号)を送って、コマンドモードに移行します。一定時間は、0.2秒程で充分です。

-----  
CONMODE (CONNECT MODE) パケットモード専用 1134  
-----

略語： CONM 初期設定： CONVERSE クラス： L

コマンド書式： CONMODE CONVERSE/TRANS  
CONM C/T

パラメーター： CONVERSE … コネクトされるとコンバースモードになります。  
TRANS … コネクトされるとトランスペアレントモードになります。

文 例： CONMODE CONVERSE  
CONM C  
CONM T

関連コマンド： なし

説明： コネクトされた直後に移行する、運用モードの指定をおこなうコマンドです。

コンバースモードか、トランスペアレントモードのどちらかを指定します。通常は、コンバースモードに指定して使用します。

-----  
CONNECT パケットモード専用 1159  
-----

略語： C 初期設定： - クラス： D

コマンド書式： CONNECT [コールサイン]  
C [コールサイン] VIA [コール1], [コール2] ~ [コール8]  
C [コールサイン] V [コール1], [コール2] ~ [コール8]

パラメーター： [コールサイン] … コネクトしたい局のコールサイン  
[コール1] ~ [コール8]  
… デジピートしたい局のコールサイン。最大8局まで近い順に設定できます。

文 例 : CONNECT JA1xxx  
C JA1xxx  
CONNECT JA1xxx VIA JA1+++ , JA2--- , JA2===  
C JA1xxx V JA1+++ , JA2--- , JA2===

関連コマンド : DISCONN E

説 明 : 他局に対してコネクト(回線接続)要求を出します。  
デジピートを必要としない場合は、相手局のコールサインのみを入力  
します。コールサインには、JA1\*\*\*-1のようなSSIDも使  
用できます。

デジピートをしたい場合は、相手局の後ろに[VIA(V)]をつけ、デジ  
ピートしたい局のコールサインを[,]で区切って入力します。  
デジピートは最大8局まで設定でき、近い順に入力します。

相手局がその周波数にいないか、応答がない場合や、電波が届かないな  
どの理由で設定したリトライカウントに達しても相手局にパケットが  
正しく到達しなかった場合は、

```
*** retry count exceeded  
*** DISCONNECTED
```

と表示して、ディスコネクトします。

相手局コネクト中であつたり、何らかの事情でコネクト要求を拒否さ  
れた場合は、

```
*** JA1◇◇◇ is busy  
*** DISCONNECTED
```

と表示して、ディスコネクトします。

コネクト要求を途中で停止したい時は、「NEWMODE」コマンドが[ON  
]の場合は、そのまま「DISCONN E」コマンドを実行します。  
「NEWMODE」コマンドが[OFF]の場合は、[CTRL-C]を入力してコマ  
ンドモードに戻ってから、「DISCONN E」コマンドを実行します。

---

CONOK	(CONNECT OK)	パケットモード専用	1212
-------	--------------	-----------	------

---

略語 : CONO 初期設定 : ON クラス : L

コマンド書式 : CONOK ON/OFF  
CONO ON/OF

パラメーター : ON ... 他局からのコネクト要求に応じます。  
OFF ... 他局からのコネクト要求に応じません。

文 例 : CONOK ON  
CONO OF

関連コマンド : CONMODE , BBSMSG S

説 明 : このコマンドが[ON]の場合、相手局からコネクト要求があれば「CON  
MODE」コマンドで指定したモードに移ってコネクトします。ただし、  
[ON]であっても、すでに他局とコネクトしている場合と、[OFF]  
設定の場合は、コネクト要求を送信した局に対して[busy]を送信し  
ます。

コンバースモードのとき、コネクト要求に「busy」を送信すると、

「connect request: xxxxxx」

と表示され、[xxxxxx]局がコネクト要求を送信したことを知ることができます。ただし、「BBSMSG」コマンドが[ON]の場合には、このメッセージは表示されません。

---

CONPERM (CONNECT PERMANENT) パケットモード専用 1243

---

略語: CONP 初期設定: OFF クラス: L

コマンド書式: CONPERM ON/OFF  
CONP ON/OF

パラメーター: ON ... コネクトした回線をディスコネクトさせません。  
OFF ... コネクトした回線をディスコネクトさせられます。

文 例: CONPERM ON  
CONP OF

関連コマンド: RELINK, RETRY, TRIES

説 明: コネクト中にこのコマンドを[ON]にすることにより、ディスコネクトできなくなります。

例えば、電波状態が悪くリトライが多くても、1度コネクトしてしまえば、ディスコネクトすることはできなくなります。

このコマンドを[ON]にしたときは、ディスコネクトができませんので、[OFF]に戻してから、ディスコネクトを実行してください。

---

CONSTAMP (CONNECT STAMP) パケットモード専用 1269

---

略語: CONS 初期設定: OFF クラス: M

コマンド書式: CONSTAMP ON/OFF  
CONS ON/OF

パラメーター: ON ... コネクト表示に日付と時間を付加します。  
OFF ... コネクト表示に日付と時間を付加しません。

文 例: CONSTAMP ON  
CONS OF

関連コマンド: DAYTIME, DAYUSA

説 明: コネクト時の時間と日付をTNC内の時計機能を使用して表示させるコマンドです。

時間と日付の表示は、「DAYTIME」コマンドであらかじめ設定しておく必要があります。

日付フォーマットは、「DAYUSA」コマンドによって決まります。

---

CONT CWモード専用 1294

---

略語： CONT                      初期設定： 0                      クラス： B

コマンド書式： CONT n(0~65535)

パラメーター： n … コンテスト番号を設定します。

文            例： CONT 1  
              CONT 0

関連コマンド： なし

説            明： 電信のコンテストにおいて、001, 002, 003のように1局更新するたびに増えてゆくコンテストナンバーを使用することがあります。このような時に使用するコマンドです。

あらかじめメモリーチャンネルの中に「#」キャラクターを書き込んでおくと、そのメモリーチャンネルを送信するたびに「CONT」コマンドで設定されている番号を送信し、数値を+1します。

「0」を設定すると番号の送出はおこなわれません。

-----  
CONVERSE                                      パケットモード専用                      1319  
-----

略語： CONV または K                      初期設定： -                      クラス： D

コマンド書式： CONVERSE  
                  CONV  
                  K

パラメーター： コマンド入力後、直ちに動作を開始するダイレクトコマンドです。

文            例： CONVERSE  
              CONV  
              K

関連コマンド： UNPROTO

説            明： このコマンド入力で、コマンドモードからコンバースモードに移行します。コンバースモードでは、入力された文字は [リターン(Enter)] を押したのちに、すべてパケットになって送信されます。

コンバースモードからコマンドモードに戻る場合には、「COMMAND」コマンドで設定された文字コード(初期値はCTRL-C)を入力します。コネクト中に、一時的にコマンドモードに戻り、コマンドを実行後、再びこのコマンドによりコネクトの相手局との通信に戻ることもできます。

-----  
CPACTIME                      (CONVERSE PACKET TIME)                      パケットモード専用                      1347  
-----

略語： CP                                      初期設定： OFF                      クラス： T

コマンド書式： CPACTIME ON/OFF  
                  CP ON/OF

パラメーター： ON … コンバースモードで、「PACTIME」コマンドで設定した時間ごとにパケットを送信します。  
                  OFF … コンバースモードで、「PACTIME」コマンドで設定した時間が過ぎてもパケットは送信しません。

文 例： CPACTIME ON  
CP OF

関連コマンド： CR, PACTIME

説 明： 通常は、[CR] コードで送信がおこなわれますが、このコマンドが [ON] だと、「PACTIME」コマンドで設定した時間ごとに自動的にパケットが送信されます。

このコマンドを使用する場合は、「CR」コマンドを [OFF] で使用してください。「CR」コマンドを [OFF] にしないと、「SENDPAC」に設定したキャラクターまで一緒に送信されてしまいます。

---

CR (CARRIAGE RETURN) パケットモード専用 1374

---

略語： CR 初期設定： ON クラス： L

コマンド書式： CR ON/OFF  
CR ON/OF

パラメーター： ON … 送信するパケットに [CR] コードを付加します。  
OFF … 送信するパケットに [CR] コードを付加しません。

文 例： CR ON  
CR OF

関連コマンド： SENDPAC

説 明： このコマンドを [ON] にすると、パケットの最後に [CR] コードを付加します。もし、「SENDPAC」コマンドで [CR] コードと同じ [\$OD] を指定すると、パケットの送信は [リターン(Enter)] 入力後すぐに実行され、なおかつ、パケットの最後に [CR] コードを付加します。

---

CRLEN TTYモード専用 1396

---

略語： CRL 初期設定： 72 クラス： B

コマンド書式： CRLEN n(0~255)  
CRL n(0~255)

パラメーター： n … RTTYとTORモードで自動改行する文字数の設定をします。

文 例： CRLEN 0  
CRL 80

関連コマンド： CRTTY, LFTTY, SPACELEN

説 明： 自動改行をおこなう文字数を設定します。送信文の1行の文字数が、この数値に達すると、自動改行をおこないます。

自動改行をおこなう場合は、「CRTTY」コマンド、「LFTTY」コマンドの動作設定にしたがいます。

「0」を設定すると、自動改行はおこなわなくなります。





C T E X T (CONNECT TEXT) パケットモード専用 1482

略語: C T 初期設定: - クラス: I

コマンド書式: CTEXT [テキスト文(最大半角239文字)]  
CT [テキスト文(最大半角239文字)]

パラメーター: [テキスト文] … コネクトされたときに送信するメッセージを入力します。

文 例: CTEXT I'm not here right now.  
CT コネクトありがとうございます。

関連コマンド: CMSG, CMSGDISC, DTEXT, PASS

説明: 「MYCALL」にコネクトされたときに、自動的に送信したいメッセージを239文字以内(半角文字)以内で入力します。内容を消去したい場合には、「%」あるいは「&」をテキスト文の先頭に入力します。239文字を超えるとエラーとなります。複数行におよぶメッセージを送信したい場合には、「PASS」コマンドで設定した文字コード(初期値CTRL-V)を[CR]コードの前に挿入し、続けて[CR]コードを入力すれば、この[CR]コードはメッセージの終了ではなくメッセージの一部として入力できます。

- ※ 「CMSG」コマンドが[OFF]の場合、このメッセージは送信されません。
- ※ 「CMSGDISC」コマンドと「DTEXT」の設定によって動作が変化します。
- ※ キャラクターの数は半角での数です。全角(2バイトコード)の場合は、半分にしてください。

C W (CONNECT TEXT) CWモード専用 1514

略語: C W 初期設定: O F F クラス: B

コマンド書式: CW ON/OFF  
CW ON/OF

パラメーター: ON … CWモードにしたとき、通信モードでスタートします。  
OFF … CWモードにしたとき、コマンドモードでスタートします。

文 例: CW ON  
CW OF

関連コマンド: K, R T T Y

説明: このコマンドを[ON]にしておくと、CWモードになったとき、通常のコマンドモードからではなく、通信モードで開始します。

C W I D T T Yモード専用 1534

略語: C W I D 初期設定: - クラス: B

コマンド書式: CWID [Text]

パラメーター: [Text] … CWIDのテキスト文を書き込みます。

文 例: CWID DE JA1\*\*\*  
CWID %









D

パラメーター： なし

文 例： DISCONN  
D

関連コマンド： CONNECT, CONPERM

説 明： コネクト中に、このコマンドを相手局に送信し受け付けられるとディスコネクトします。  
この場合は、

\*\*\* DISCONNECTED

と表示します。コネクト中に相手がディスコネクトの操作をした場合も同様です。

電波状態が悪く設定したリトライカウントに達してもパケットが正しく到達しなかった場合にも同様に、

\*\*\* retry count exceeded  
\*\*\* DISCONNECTED

と表示しディスコネクトします。

この表示はトランスペアレントモードでは表示いたしません。

-----  
D I S P L A Y 1822  
-----

略語： DISP 初期設定： - クラス： D

コマンド書式： DISPLAY [クラス]  
DISP [クラス]

パラメーター： [クラス]  
ASON/OFC (A)=RS-232Cポートパラメーターの表示  
CHARACTER (B)=各モードの専用パラメーターの表示  
HEALTH (C)=特殊キャラクターの表示  
ID (H)=HEALTHカウンター  
LINK (I)=IDパラメーターの表示  
MONITOR (L)=LINKパラメーターの表示  
TIMING (M)=MONITORパラメーターの表示  
(T)=TIMINGパラメーターの表示

文 例： DISPLAY  
DISPLAY ASON/OFC  
DISP M

関連コマンド： なし

説 明： コマンドの状態を表示させるためにあります。各クラス別に表示させたり、クラスを入力せずに「DISPLAY(DISP)」だけを入力すると全部のコマンドを表示します。

(A)=RS232Cポートパラメーターの表示  
パソコンとの接続に関して、必要なコマンド

(B)=各モードの専用パラメーターの表示  
各モード専用のコマンドの一覧です。使用モードによって表

示するコマンドは違います。

(C)=特殊キャラクターの表示

使用するターミナルソフトのプログラム上、変更が必要になるキャラクター、およびTNCの動作に必要なキャラクターコマンドです。

(H)=HEALTHカウンターの表示

カウンターコマンドを一覧表示させます。TNCの動作状況の確認に使用します。

(I)=IDパラメーターの表示

TNCに登録をするID関連の一覧表示です。

(L)=LINKFパラメーターの表示

TNC動作におけるリンク状況を一覧表示します。

(M)=MONITORパラメーターの表示

TNCのモニター関連コマンドの一覧表示です。

(T)=TIMINGパラメーターの表示

TNCのタイミングコマンドの一覧表示をします。

- ※ クラスの覧は、この「DISP ?(?(の所をクラス名にする)」のコマンドで表示されることを示しています。ただし、クラスDだけは、「DISPLAY」で表示はされないダイレクトコマンドです。

---

DTEXT	(DISCONNECT TEXT)	パケットモード専用	1883
-------	-------------------	-----------	------

---

略語： DT 初期設定： - クラス： I

コマンド書式： DTEXT [テキスト文(最大半角239文字)]  
DT [テキスト文]

パラメーター： [テキスト文] … 不在時にコネクされたとき、送信するメッセージを入力します。

文 例： DTEXT I'm not here right now.  
DT メッセージボードにメッセージを書き込んでください。

関連コマンド： CMSG, CMSGDISC, CTEXT, PASS

説明： 不在時に「MYCALL」にコネクされたときに、自動的に送信するメッセージを239文字以内(半角文字)で入力します。  
内容を消去したい場合には、「%」あるいは「&」をテキスト文の先頭に入力してください。  
239文字を超えるとエラーとなります。複数行におよぶメッセージを送りたい場合には、「PASS」コマンドで設定したコード(初期値CTRL-V)を[CR]コードの前に挿入し、続けて[CR]コードを入力すれば、この[CR]コードは、メッセージの終了ではなくメッセージの一部としてあつかわれます。

- ※ 「CMSG」コマンドが[OFF]、または「CMSGDISC」コマンドが[OFF]の場合は、このメッセージは送信されません。

- ※ このメッセージが送信された後、自動的にディスコネクします。  
※ キャラクターの数は半角での数です。全角(2バイトコード)の場合は、半分にしてください。
-

DWA I T (DIGIPEAT WAIT) パケットモード専用 1916

略語: DW 初期設定: 16 クラス: T

コマンド書式: DWAIT n(0~250)  
DW n(0~250)

パラメーター: n ... TNCがパケットを送信しようとするとき、チャンネルが空になった後、PTTをONにするまでのウェイトタイム(待時間)を [n×10mS] で設定します。

文 例: DWAIT 48  
DW 33

関連コマンド: AXDELAY, AXHANG, PPERSIST, TXDELAY

説 明: デジピート局にチャンネルを優先して使用させ、また、用途により各局が送信するパケットに優先順位を付けるためにあります。デジピーターとして動作するTNCは、この設定に関係なく、自動的に「DWAIT」を [0] として動作します。  
キーボード送信局は、初期値の [16] で、RBBS局は [32] に、ファイルを転送する局は、[48] とすれば良いでしょう。  
なお、「PPERSIST」コマンドを [ON] にしますと、常に、「DWAIT」を [0] として動作します。

ECHO 1943

略語: E 初期設定: ON クラス: A

コマンド書式: ECHO ON/OFF  
E ON/OF

パラメーター: ON ... ターミナルにエコーバックがかかります。  
OFF ... ターミナルにエコーバックがかかりません。

文 例: ECHO ON  
E OF

関連コマンド: なし

説 明: 使用しているターミナルが、入力した文字を表示できない場合に、[ON] にします。入力した文字が重複して表示される場合には、[OFF] にして使用します。

使用するターミナルソフトによっては、「ECHO」を [OFF] にして使用しなければ動作しないものもあります。使用するターミナルソフトの説明書をよくご覧になって設定してください。

ESCAPE 1968

略語: ES 初期設定: OFF クラス: A

コマンド書式: ESCAPE ON/OFF  
ES ON/OF

パラメーター: ON ... [ESC] キー(\$1B)の表示は、[\$] となります。  
OFF ... [ESC] キーの表示は、そのまま [\$1B] となります。





度)を設定します。コンピュータの処理速度が許す限り、パラメータを大きく設定して下さい。ただし、以下の組み合わせでは使用できませんので、注意が必要です。

「FSPEED」コマンドの設定が90 r.p.mと180 r.p.mの場合

「FDOT」が480, 600, 960, 1280, 1920の設定

「FSPEED」コマンドの設定が180 r.p.mの場合

「FDOT」が1600の設定

「FSPEED」コマンドの設定が240 r.p.mの場合

「FDOT」が1280, 1600, 1920の設定

\* 「FSPEED」コマンドの設定が240 r.p.m、「FDOT」1200の場合  
は、「ASPECT」を「2」以上にして下さい。

\* 以上のデータは全て、シリアル通信ボーレートを9600 bps  
の設定にした場合を前提にしています。ボーレートを下げた  
場合は、使用可能なFDOTの上限が下がります。

---

FIGADD TTYモード専用 2060

---

略語: FIG 初期設定: OFF クラス: B

コマンド書式: FIGADD ON/OFF  
FIG ON/OFF

パラメーター: ON ... スペースを送信した後に、FIGSケースの文字の前にFIGSを追加して送信する。  
OFF ... スペースを送信した後に、FIGSケースの文字をそのまま送信する。

文 例: FIGADD ON  
FIG OFF

関連コマンド: USOS

説明: 通信の相手局が「USOS」コマンドを[ON]にしている場合、その局がスペースを受信すると次の文字は英文字として受信してしまいます。このような誤動作を防ぐために、スペースの次にFIGSケース(数字、記号)の文字を送信する場合はその文字の送信の前に、FIGURES(ケースをFIGSに設定する符号)を送信するように設定します。

---

FILE 2085

---

略語: FI 初期設定: なし クラス: D

コマンド書式: FILE  
FI

パラメーター: なし

文 例: FILE  
FI

関連コマンド: KILL, LIST, MINE, READ, WRITE

説明: メッセージボード内にあるすべてのメッセージのリストを表示する直接コマンドです。

-----  
F I R M R N R

2104  
-----

略語： F I R M R

初期設定： O N

クラス： T

コマンド書式： F I R M R N R O N / O F F  
F I R M R O N / O F

パラメーター： なし

文 例： F I R M R N R O N  
F I R M R N

関連コマンド： F R A C K

説 明： これを [ON] にしますと、RNRフレームを受信した時に、相手からの次のフレームを受信するまでパケットの送信をおこないません。  
[OFF] にしますと、RNRフレームを受信後、「FRACK」コマンドで設定した時間ごとにIフレームを送信し、相手からは、再びRNRフレームが送信されます。この繰り返しが、結果的にチャンネルの使用効率が悪化します。

※ 混んでいない無線チャンネルで高速データ通信をおこないたい場合は [OFF] に設定した方が良いかもしれません。

-----  
F L O V E R

F A Xモードを除く各モード 2130  
-----

略語： F L

初期設定： O

クラス： A

コマンド書式： F L O V E R n (0~120)  
F L n (0~120)

パラメーター： n … RS-232Cの受信バッファ（TNCが受信したデータをターミナルに送信するためのバッファ）が、いっぱいになってからハードウェアのフロー制御(DTRまたはRTS)を無視して、RS-232Cのデータを破棄するまでの時間を [n×1分] に設定します。

文 例： F L O V E R 10  
F L 6

関連コマンド： F L O W, R S F L O W, S T A R T, S T O P, X F L O W

説 明： TNCからターミナルへ向けて送られる、データのバッファ（受信バッファ）がいっぱいになると、TNCはそれ以上のデータの受け取りができないことを、相手のTNCに知らせるためにパケット(RNR)を送信します。  
パソコンの電源を切って、メッセージボードだけを動作させている時にこれが起きると、メッセージボードも動作しなくなり、メッセージボードにコネクタしても、メッセージボードはコマンドに回答しなくなります。このコマンドでデータを自動消去ください。

このコマンドで設定された時間、RS-232Cの受信バッファがいっぱいになった状態が続くと、RS-232Cのバッファのデータ(送受信両方)が捨てられます。RS-232Cのデータだけを捨てますので、メッセージボードに書き込まれるデータが失われることはありません。あまりにも小さな設定をおこなうと、通常のフロー制御の動作によってデータが止まっても作動してしまい、文字抜けや文字化けの原因になります。少なくとも [6] 以上に設定することを



-----  
略語： FR 初期設定： 3 クラス： T

コマンド書式： FRACK n(0~15)  
FR n(0~15)

パラメーター： n … パケット送信後、相手局からの確認パケット受け取り、インターバルタイムを [n×1S] で設定します。

文 例： FRACK 2  
FR 5

関連コマンド： F I R M R N R

説 明： パケット送信後、相手局からの確認パケット受け取り待ちのインターバルを設定します。タイムアウトすると同じデータを再送、または、応答要求パケットの送出をおこないます。  
デジピートを利用する場合には、この時間は自動的に、

$$\text{リトライインターバル} = n \times (2 \times m + 1)$$

として動作します。(mはデジピート局の数です。)

キーボード送信局は初期値の [3] で、RBBS局は [6] に、ファイルを転送する局は [10] に設定することをおすすめいたします。  
チャンネルが混雑している時は、キーボード送信局は [6] に設定することをおすすめいたします。

-----  
F S P E E D FAXモード専用 2256  
-----

略語： FS 初期設定： 3 クラス： B

コマンド書式： FSPEED n(1~5)  
FS n(1~5)

パラメーター： n … 回転数を1~5のパラメータで設定します。  
1 = 60 r.p.m 2 = 90 r.p.m 3 = 120 r.p.m  
4 = 180 r.p.m 5 = 240 r.p.m

文 例： FSPEED 1  
FS 5

関連コマンド： A S P E C T, F D O T

説 明： 1分あたりのスキャン行数を設定します。

国内の気象FAXのほとんどは120 r.p.mですから、「3」を設定します。

-----  
F U L L D U P (FULL DUPLEX) パケットモード専用 2279  
-----

略語： FU 初期設定： OFF クラス： L

コマンド書式： FULLDUP ON/OFF  
FU ON/OF

パラメーター： ON … FULLDUPLEX (全二重) モードに設定します。  
OFF … HALFDUPLEX (半二重) モードに設定します。



文 例： HID ON  
HI OF

関連コマンド： ID, MYALIAS, MYCALL, UNPROTO

説明： このコマンドが [ON] の場合、TNCがデジピーターとして使用された後、約9.5分毎にIDコードを自動的に送信します。この場合のヘッダー部は、「UNPROTO」コマンドで設定した局で、「MYCALL」コマンドで設定されているコールサインに [/R] を付けたものが送信されます。その例としては、

JA1xxx>ID:JA2+++/R

のようになります。

「MYALIAS」コマンドにコールサイン以外の文字、数字を設定したときは、「HID」を [ON] にして、どの局がデジピートしているのかを表示してください。

---

ID (INDENTIFICATION) パケットモード専用 2371

---

略語： I 初期設定： - クラス： D

コマンド書式： ID  
I

パラメーター： なし

文 例： ID  
I

関連コマンド： HID, MYCALL, UNPROTO

説明： このコマンドを入力すると、IDコードを入力毎に送信します。この場合のヘッダー部は、「UNPROTO」コマンドで設定した局で、「MYCALL」コマンドで設定されているコールサインに [/R] を付けたものが送信されます。その例としては、

JA1xxx>ID:JA2+++/R

のようになります。このコマンドは、「HID」コマンドと本質的には変わりませんが、「HID」コマンドは自動送信ですが、「ID」は入力毎に送信をおこないます。

IDコード送信後、デジピーターとして使用されないと、「ID」は無効です。

---

IDLE TTYモード (G-FEC)専用 2401

---

略語： ID 初期設定： ON クラス： B

コマンド書式： IDLE ON/OFF  
ID ON/OF

パラメーター： ON … 改行ごとに同期信号を挿入して送信する。  
OFF … データがある間は、同期信号を送信しない。

文 例： IDLE ON

ID 0F

関連コマンド： なし

説明： C-FEC（コレクティブFEC＝普通のFEC）のとき[ON]にすると、改行をおこなったあと、新しい行の最初の文字を送信する前に、強制的にSYNC IDLEを4サイクル分挿入し、待機している局が受信を開始できるようにします。

-----  
ITA#2 TTYモード\* (ASCIIを除く)専用 2423  
-----

略語： ITA 初期設定： ON クラス： B

コマンド書式： ITA#2 ON/OFF  
ITA ON/OF

パラメーター： ON … CCITT-ITA#2として符号を解釈します。  
OFF … US符号として符号を解釈します。

文 例： ITA#2 ON  
ITA OF

関連コマンド： なし

説明： CCITT-ITA#2（ヨーロッパ）符号とUS（米国）符号とを切り替えるコマンドです。コマンドに従って、下記の文字が切り変わります。

文字	ITA#2	US
FIGS-D		CTRL-E (WRU) \$
FIGS-F	なし	!
FIGS-G	なし	&
FIGS-H	なし	#
FIGS-J		CTRL-G (Bell)
FIGS-S		CTRL-G (Bell)
FIGS-V		;
FIGS-Z		+

\* CTRL-E、CTRL-Gの送信は必ずCTRL-Vを前置するようにしてください。

-----  
K パケットモード専用 2457  
-----

略語： K 初期設定： - クラス： D

コマンド書式： K

パラメーター： なし

文 例： K

関連コマンド： CONVERSE, TRANS

説明： コマンドモードからコンパースモードへ移行します。  
「CONVERSE」コマンドの略語です。

-----



K

パケットモードを除く 2474

略語: K 初期設定: - クラス: D

コマンド書式: K

パラメーター: なし

文 例: K

関連コマンド: CW, RTTY

説明: コマンドモードから通信モードへ移行します。  
コマンドモードのままでは、送信や受信をおこなうことはできません。

K I L L

パケットモード専用 2492

略語: K I 初期設定: O N クラス: B/D

コマンド書式: KILL n  
KILL n, n, n, n, . . . . . n  
KI [パラメーター]  
KI ON/OFF  
KI ON/OF

パラメーター: n ... 消去するメッセージの番号。  
% ... メッセージ番号の小さい順に、10個のメッセージを消去する。  
K ... 「KILL」指定のメッセージをすべて消去する。  
R ... 「KILL」指定を解除する。  
ON ... メッセージボードから「KILL」を実行すると、ただちに消去を実行します。  
OFF ... メッセージボードから「KILL」を実行しても、ただちには消去せず、「KILL」指定ファイルとして登録します。

文 例: KILL 1  
KI 2  
KI %  
KI 1, 2, 3, 5, 8, 10, 7... 15  
KI ON  
KI N

関連コマンド: FILE, LIST, MINE, READ, WRITE

説明: コンソールからメッセージボード内のメッセージを消去したり、消去の方法を設定します。

「KILL」を [OFF] に設定しているときは、コネクタ局が「K」コマンドを実行し、ファイルを消去しようとしても、ファイルの [TS] 欄には [K] マークが表示され、コネクタ局からは指定ファイルが存在しないように見えます。しかし、実際には、「KILL」は実行されずに、ファイルは存在しています。

[K] マークの指定されたファイルは、コンソールからの読み出し、ファイルの復帰、およびファイルの完全消去の操作ができます。

[K] マークのついた「KILL」指定ファイルは、「KILL」が [ON] の状態で「RESTERT」コマンドを実行するか、電源スイッチの ON/OFF をすると、すべて消去されます。



関連コマンド： MBOD, STREAMSW, BKONDEL

説明： TNC-555は、日本語用の特別コマンドとして、このコマンドを持っています。

[OFF] のときは、通常のTNCとして動作します。 [ON] にしたときは、日本向けに次の動作をします。

- ① 主なエラーメッセージを漢字(ｼﾌﾄJIS)で表示します。
- ② 漢字の入力文字(全角文字)を訂正時に、1度のキー操作で2バイト(漢字1文字)を消去します。(ｼﾌﾄJISのみ)
- ③ メッセージボードのHELP文を、?コマンド入力時に半角のｶｶｶで表示します。

---

LCALLS (LIST CALLS) パケットモード専用 2615

---

略語： LCA 初期設定： - クラス： M

コマンド書式： LCALLS call1, call2, call3, ~call8  
LCA call1, call2, call3, ~call8

パラメーター： call1~call8 … モニターしたい局、またはモニターしたくない局のコールサインを最大8局まで設定できます。

文 例： LCALLS call1, call2, call3, call4, call5, call6, call7, call8  
LCA call1, call2, call3, call4, call5, call6, call7, call8

関連コマンド： BUDLIST

説明： このコマンドによってモニターしたい局を制限することができます。設定した局のみをモニターしたいときは、「BUDLIST」を [ON] にします。設定した局のみをモニターしたくないときは、「BUDLIST」を [OFF] にします。

すべての局をモニターしたいときは、 [%] または [&] で、リストを消してください。

---

LCOK パケットモード専用 2641

---

略語： L 初期設定： ON クラス： A

コマンド書式： LCOK ON/OFF  
L ON/OF

パラメーター： ON … 小文字データを小文字のままターミナルに出力します。  
OFF … 小文字データを大文字データに変換して、ターミナルに出力します。

文 例： LCOK ON  
L OF

関連コマンド： なし

説明： 小文字を表示できないターミナルを使用する場合に、受信したパケットの中の小文字データを大文字データに変換してターミナルに出力します。





パラメーター： なし

文 例： LIST  
LI

関連コマンド： FILE, KILL, MINE, READ, WRITE

説 明： メッセージボード内にある、他局発で他局宛のメッセージを除く、  
メッセージLISTを全て表示します。

---

LOCK CWモード専用 2796

---

略語： LO 初期設定： OFF クラス： A

コマンド書式： LOCK ON/OFF  
LO ON/OF

パラメーター： ON … CWの受信速度は「SPEED」コマンドで設定された速度に固定  
されます。  
OFF … CWの受信速度は「SPEED」コマンドの設定に関係なく、受信  
信号または、PADDLE端子に接続された電鍵で送信す  
る速度に自動追従します。

文 例： LOCK ON  
LO OF

関連コマンド： SPEED

説 明： CWの受信信号によっては、自動追従をおこなわない方が良い場合  
があります。そのようなときに、このコマンドで受信速度の固定が  
できます。

受信速度を固定しても、ある程度の余裕を持たせて解読をおこなう  
ようになっていますので、多少のスピードのばらつきでも問題無く  
解読ができます。

---

LOG パケットモード専用 2824

---

略語： LOG 初期設定： - クラス： D

コマンド書式： LOG

パラメーター： なし

文 例： LOG

関連コマンド： MHEARD

説 明： メッセージボードにコネクした局のリストを最大18局まで表示  
します。18局以上コネクしたときは、古い順に抹消されます。

「DAYTIME」コマンドで日付を設定している場合は、リストにコネク  
した時間を付加します。

このリストは、「RESTART」コマンドの実行や、電源を切ったときに  
消去されます。



MALL (MONITOR ALL) パケットモード専用 2908

略語: MA 初期設定: ON クラス: M

コマンド書式: MALL ON/OFF  
MA ON/OF

パラメーター: ON ... モニターするパケットは、コネクされたものとコネクされ  
ないものの両方を表示します。  
OFF ... モニターするパケットは、コネクされていない局のもの  
だけを表示します。

文 例: MALL ON  
MA OF

関連コマンド: BUDLIST, LCALLS, MONITOR

説 明: モニターするパケットの条件を指定します。

このコマンドが [ON] の場合、コネクされたパケットとコネクされ  
ていないパケットの両方を表示します。

[OFF] では、まだコネクされていないパケットを送信した局(例え  
ば CQ を出した局)だけモニターします。

MAXFRAME パケットモード専用 2934

略語: MAX 初期設定: 4 クラス: L

コマンド書式: MAXFRAME n(1~7)  
MAX n(1~7)

パラメーター: n ... 1度に送信できるパケットの最大フレーム数を設定します。

文 例: MAXFRAME 5  
MAX 3

関連コマンド: PACLEN

説 明: 送信パケットの長さは、「PACLEN」コマンドで設定しますが、TNC  
は1回の送信で複数個のパケットをまとめて送ることができます。そ  
のための、1回の送信で何個のパケットを送るかを設定します。これ  
は上限の設定ですので、必ずしも設定した数のパケットが送信される  
とは限りません。

送信データが多い場合には、「MAXFRAME」が大きいほうが伝送効率  
があがりますが、相手局のターミナルの能率や電波状態による誤り発生  
率を考慮して設定する必要があります。

混雑した無線チャンネルでメッセージボードを運用する局は、なるべ  
く変更しないで使用してください。

MBOD パケットモード専用 2963

略語: MB 初期設定: OFF クラス: B

コマンド書式: MBOD ON/OFF  
MB ON/OF



パラメーター： ON … メッセージボードを使用可能にします。  
(Kストリームをメッセージボードとして使用します。)  
OFF … メッセージボードを使用禁止にします。  
(Kストリームにコネクトを禁止します。)

文 例： MBOD ON  
MB OF

関連コマンド： MYMCALL, DAYTIME

説 明： このコマンドを [ON] にすると、伝言板およびミニBBSとして使用  
できるメッセージボード機能を使用することができます。この場合、  
必ず「MYMCALL」に専用のコールサインを設定しておいてください。

[OFF] のときは、メッセージボード機能は使用できません。また、  
外部から「MYMCALL」にコネクトしようとする、必ず [Busy] を返し  
ます。

「MYMCALL」にコネクトされているときに、「MBOD」を [OFF] にして  
も、ディスコネクトはおこないません。

また、コネクト中に「MBOD」を [OFF] から [ON] に切り換えても、  
コネクトしている間は、メッセージボードは動作しません。ディスコ  
ネクト後に動作を開始します。

---

MCOM パケットモード専用 2997

---

略語： MCOM 初期設定： OFF クラス： M

コマンド書式： MCOM ON/OFF  
MCOM ON/OF

パラメーター： ON … I、UA、C、D、DM等のすべてのフレームがモニターで  
きます。  
OFF … Iーフレームのみモニターできます。

文 例： MCOM ON  
MCOM OF

関連コマンド： MALL, MONITOR

説 明： [OFF] 時は、Iー情報フレームだけを表示します。[ON] にすると、  
Iー情報、Cーコネクト要求、Dーディスコネクト要求、UAー確認  
応答、DMー拒否応答、その他P/Fーポール/ファイナルビット、  
コマンド/レスポンスの別、シーケンス番号等を表示します。接続  
状態の確認には大変便利です。

---

MCON (MONITOR CONNECT) パケットモード専用 3021

---

略語： MC 初期設定： OFF クラス： M

コマンド書式： MCON ON/OFF  
MC ON/OF

パラメーター： ON … コネクトされても他局のモニターを続行します。  
OFF … コネクトされたら他局のモニターをおこないません。

文 例： MCON ON

MC OF

関連コマンド： MALL, MONITOR

説明： このコマンドが [ON] のときには、コネクタされた後も、他局のモニターを継続します。 [OFF] のときにコネクタされると、他局のモニターを中止しますが、ディスコネクタするとモニターを再開します。

---

MEM FAXモードを除く 3042

---

略語： MEM 初期設定： OFF クラス： B

コマンド書式： MEM ON/OFF  
MEM ON/OF

パラメーター： ON … CWやTTYのモードにおいて、MEM機能が使用できるメモリーエリアを確保します。  
OFF … パケットモードでメッセージボードの容量が最大限に利用できます。

文 例： MEM ON  
MEM OF

関連コマンド： MEMn

説明： CWやTTYモードで使用するメッセージメモリー用のRAM領域を2.5KB分確保するためのコマンドです。

このコマンドを[ON]にすると、メッセージボードの容量が2,560バイト分減り、それが「MEMn」のメッセージメモリーに使用されます。メッセージメモリーの残量が2,560バイト未満の場合は[ON]にすることはできません。

\* このコマンドを[OFF]にしたままでも、メッセージメモリーを使用できることがありますが、不安定な状態ですので、動作の保証はされません。

---

MEMn (0~9) CW, TTYモード専用 3073

---

略語： MEMn(0~9) 初期設定： - クラス： B

コマンド書式： MEMn Text(240 Character MAX)

パラメーター： n … (0~9) のメッセージメモリーのチャンネル番号。  
Text…送信する文章を半角で240文字以内で入力します。

文 例： MEM1 CQ CQ CQ  
MEM6 VVV VVV ホジツハ セイテンリ

関連コマンド： MEM

説明： nはメッセージメモリーのチャンネル番号です。  
テキスト文は半角文字で書き込みます。

CWモードの場合は、テキスト文の中に^のキャラクターを書き込んでおくと、そのキャラクターを読み出したとき、送信を一時停止します。停止時間は18短点分の時間です。一時停止中にキー入力をする、その文字を送信したあと、再度18短点分の停止時間に



コマンド書式： MHEARD  
MH

パラメーター： なし

文 例： MHEARD  
MH

関連コマンド： DAYTIME, MHCLEAR, MSTAMP

説 明： モニターした局のリストを表示することができます。  
リストアップできる最大局数は18局で、古い順に抹消されます。  
デジピーターを介して受信した局には、\*印が付きます。

「DAYTIME」コマンドで日付を設定している場合は、リストに時間が付加されます。  
このリストは、「MHCLEAR」コマンドを実行するか、本機の電源を切るとクリアされます。

※ 「MHEARD」の動作は、「MONITOR」コマンドが [OFF] の場合でも、常時動作しています。

---

MINE パケットモード専用 3180

---

略語： MI 初期設定： なし クラス： D

コマンド書式： MINE  
MI

パラメーター： なし

文 例： MINE  
MI

関連コマンド： FILE, KILL, LIST, READ, WRITE

説 明： メッセージボード内にある自分宛、または自分発のメッセージをリスト表示します。

---

MMUI パケットモード専用 3199

---

略語： MMUI 初期設定： OFF クラス： M

コマンド書式： MMUI ON/OFF  
MMUI ON/OF

パラメーター： ON ... 「MTCALL」コマンドで設定した局のUIフレーム(アンプロト)のパケットをモニターします。  
OFF ... 「MTCALL」コマンドで設定した局のUIフレームのパケットはモニターしません。

文 例： MMUI ON  
MMUI OF

関連コマンド： MCOM, MONITOR, MTCALL, MTR

説 明： 「MTCALL」コマンドによるモニターは、コネクト状態のデータのみをモニターの対象としますが、そのままではアンプロトでCQなどを出

したことがわかりません。この機能は、対象局がディスコネクトし、モニターしている局に対し、コネクトを促すためにCQ等を出したことを知るためのものです。

※ 「MMUI」を [ON] にしたとき、「MCOM」コマンドも [ON] になっていると、I フレームとU I フレーム以外のパケットもモニターしません。

-----  
MODE 3228  
-----

略語： MODE 初期設定： AUTO クラス： L

コマンド書式： MONITOR パラメータ

パラメーター： AUTO ... FSK 1200ボーと2400ボー通信の自動切り替え  
CW ... "MODE「CWE」"と同じ  
CWE ... 欧文CW  
CWJ ... 和文CW  
CWA ... 和文CWで、和文／欧文の自動切り替え  
TTY ... TTYコマンドで設定されているモード  
TTY R ... 5単位RTTY (BAUDOT)  
TTY A ... ASCII  
TTY T ... TOR (AMTOR) C-FEC  
TTY S ... TOR (AMTOR) S-FEC  
TTY L ... TOR (AMTOR) モニターモード  
WFAX ... 受信専用の2階調の無線FAX  
FAX ... モデムスルーモード  
1200 ... FSKの1200ボーのパケット通信  
2400 ... FSKの2400ボーのパケット通信  
HF ... SSB用の通信ボーレート300ボーのパケット  
PSK ... SSBとFMで1200ボーの通信モード  
JAS ... マンチェスターコードで送信、PSKで受信  
GMSK ... GMSK互換、9600ボーの高速パケット  
9600 ... FIR方式 (G3RUH互換)、9600ボーの高速パケット

文 例： MODE 1200  
MODE GMSK  
MODE TTY S

関連コマンド： TTY

説 明： 動作モードを切り替えるコマンドです。

- \* モードを切り替えるときは、メッセージボードにコネクトして局が無いことを確認してから切り替えるようにして下さい。(メッセージボードが動作するのはパケットモードだけです。CWモードなどに切り替わっている間は、動作が停止します。)
- \* JASモードは受信はPSKモードと同じですが、送信がアマチュア衛星との通信用にマンチェスターコードになります。
- \* 「MODE HF」を使用して、300ボーのパケット通信をおこなう場合の同調操作は大変シビアです。20Hz以上離調すると通信は不能になると考えて下さい。しかし、それがこのモードの魅力の一つなのかもしれません。
- \* 通常、RTTYと呼ばれているものは「TTY R」です。
- \* 通常、AMTORと呼ばれているものは「TTY T」です。
- \* 「TTY L」は、AMTORでのモードA (ARQモード)での通信をモニターするための、受信専用のモードです。
- \* 「TTY T」は、AMTORでのモードB (FECモード)での通



MRC JA1xxx-2

関連コマンド： MMUI, MONITOR, MTCALL, MTR

説明： 「MTCALL」コマンドは、データの送信局を指定し、単独で動作しましたが、このコマンドは、「MTCALL」の[コールサイン1]と組み合わせて使用し、コネクットの相手局を指定するためのものです。

「MTR」を[OFF]にしてモニターしたときに、下記のように表示された場合を例にとると、

JA1△△△>JA00×△-2: (デジピートされてきたときには、ここにデジピートの局名がでます。)

というようにモニターされた場合には、JA1△△△とJA00×△-2の2局がコネクット状態にあり、JA1△△△がJA00×△-2に向けてパケットを送信したことを示しています。

「MRCALL」にJA00×△-2を設定したときに、「MTCALL」コマンドの[コールサイン1]にJA1△△△が設定されていれば、JA1△△△とJA00×△-2の間のパケットがモニターされます。

なお、「MRCALL」に局名が設定されたときは、「MTCALL」コマンドの[コールサイン2]と「MMUI」の機能は意味を持ちません。つまり、「MTCALL」コマンドの[コールサイン1]と「MRCALL」の2局がコネクット状態で送受信するデータのみモニターします。

この機能はどちらかが、NET/ROMの場合を考慮したものです。「MTCALL」コマンドの[コールサイン1]と「MRCALL」に書き込みする局名は、それぞれを入れ替えても同等に作動します。

このコマンドは、「MTCALL」コマンドの補助パラメーターを設定するものですので、単独で使用することはできません。設定を解除したい場合には、先頭に[%]あるいは[&]を入力してください。

※ NET/ROMは、米国のSOFTWARE 2000 INCの商標です。

-----  
MRPT (MONITOR REPEATER) パケットモード専用 3382  
-----

略語： MR 初期設定： ON クラス： M

コマンド書式： MRPT ON/OFF  
MR ON/OF

パラメーター： ON ... デジピートルートを含めてヘッダーを表示します。  
OFF ... デジピートルートを含まないヘッダーを表示します。

文 例： MRPT ON  
MR OF

関連コマンド： HEADERLN

説明： [ON]にすると、ヘッダーにデジピートルートを含めて表示するようになります。デジピートルートが表示されていて、かつ受信パケットがデジピーター局からのものであれば、[\*]が付加されます。

-----  
MSTAMP (MONITOR STAMP) パケットモード専用 3403  
-----





[コールサイン1]と[コールサイン2]は同時に動作します。また[コールサイン1]だけの設定も可能です。

JA1△△△>JA00×△-2のとき、

MTC JA1△△△, JA00×△-2

と設定すれば、この2局間のチャットなどが、そのままモニターできます。

なお、同一周波数で対象の2局が、それぞれ別の局とコネクしているときには、モニターされる文書が混同することがあります。通常は別の周波数のBBS局名を2局分設定して使います。

この機能は、対象局がコネク状態のときにのみ機能します。対象局以外の送信するパケットはすべて無視します。「MTCALL」に設定したコールサインは、相手が誰であろうと、その局がコネク状態で送信するデータをモニターしてしまいます。

特定の2局間でおこなわれる通信のみをモニターしたいときは、「MTCALL」の[コールサイン1]と「MRCALL」コマンドの[コールサイン]に、その2局のコールサインを設定してください。

パラメーターを消去したい場合は、先頭に[%]あるいは[&]を入力してください。

---

M T E X T (MESSAGE BOARD TEXT) パケットモード専用 3494

---

略語: MT 初期設定: 標準メッセージ クラス: B

コマンド書式: MTEXT [テキスト文(最大半角239文字)]  
MT [テキスト文]

パラメーター: [テキスト文] … メッセージボードにコネクされたときに標準メッセージ文章に送信したいメッセージを半角239文字以内で入力します。

文 例: MTEXT Welcome to JA1□□□'s message board  
MT Welcome to JA1□□□'s message board

関連コマンド: MBOD, PASS

説 明: メッセージボードにコネクされたときに出すメッセージは、文例に示す部分を書き替えることができます。書き替える文章は、最大半角239文字以内で入力します。内容を消去して、標準メッセージ文章に戻したい場合には、[%]あるいは[&]をテキスト文の先頭に入力します。

239文字を超えるとエラーとなります。複数行におよぶメッセージを送信したい場合には、「PASS」コマンドで設定したコード(初期値CTRL-V)を[CR]コードの前に挿入し、つづけて[CR]コードを入力すれば、この[CR]コードはメッセージの終了ではなく、メッセージの一部として扱われます。

※ 標準メッセージ文章の中で、“JA1□□□”の部分には、自動的に「MYMCALL」コマンドで設定したコールサインから、SSIDの部分削除したコールサインが使用されます。

※ 文字数は半角の数です。全角(2バイトコード)の場合は、半分にしてください。











-----  
P A C L E N (PACKET LENGTH) パケットモード専用 3841  
-----

略語： P 初期設定： 1 2 8 クラス： L

コマンド書式： PACLEN n(0~255)  
P n(0~255)

パラメーター： n … パケットの最大データ数の設定をします。入力文字が [n] で設定された数になると、自動的にパケットを構成して送信します。

文 例： PACLEN 250  
P 64

関連コマンド： M A X F R A M E

説 明： 送信するパケットの最大文字数をバイト数で設定します。パケット送信条件は、[CR] コードを入力するか、この「PACLEN」で設定した最大文字数に入力文字が達した場合です。コンバースモード、トランスペアレントモードのどちらのモードでも意味を持ちます。

「PACLEN」で設定する文字数は大きくすれば伝送効率は上がります。しかし、使用する環境、周波数などによる誤り発生を考慮した最適値を設定する必要があります。この最適値は、時間と共に変化する可能性があります。混雑した無線チャンネルでメッセージボードを運用する局は、なるべくこの値を変えないでください。もしも、変えるときには、[160]程度にしておくのがよいでしょう。

[0] を設定しますと最大値の [255] として動作します。

-----  
P A C T I M E パケットモード専用 3875  
-----

略語： P A C T 初期設定： A F T E R 1 0 クラス： T

コマンド書式： PACTIME EVERY/AFTER n(0~250)  
PACT E/A n(0~250)

パラメーター： EVERON/OF … [n×100mS] 毎にパケットを自動送信します。  
AFTER n … [n×100mS] 以上の時間、入力がなくなるとパケットを送信します。

文 例： PACTIME EVERY 50  
PACT A 20

関連コマンド： C P A C T I M E, T R A N S

説 明： このコマンドは、トランスペアレントモードでパケットを送信するタイミングを設定します。

[EVERY] では、入力データは [n] で設定した時間ごとにパケットにして送信します。もちろん、入力がなければ送信しません。

[AFTER] では、[n] で指定した時間の間、入力が中断すると、それまでに入力した部分を送信します。[n] の単位は100ミリ秒です。

-----  
P A R I T Y 3901  
-----

略語： P A R 初期設定： 0 クラス： A

コマンド書式： PARITON/OF(0~3)  
PAR n(0~3)

パラメーター： n … パリティチェックの方式を設定します。  
0 … パリティなし  
1 … 奇数パリティ  
2 … パリティなし  
3 … 偶数パリティ

文 例： PARITY 0  
PAR 3

関連コマンド： AWLEN, 8BITCONV, RESTART

説 明： ターミナルのパリティチェックの方式を設定します。パリティは  
[パリティなし]、[奇数パリティ]、[偶数パリティ]を設定  
できます。このコマンドは、「RESTART」コマンドを実行するか電  
源を切ると、設定されたパリティ方式になります。  
この時点で、当然ターミナル側も設定に合わせます。

国産のパソコンでの使用は、初期設定の [0] のままで差し支えあり  
ません。

-----  
P A S S パケットモード専用 3930  
-----

略語： P A S 初期設定 \$ 1 6 (CTRL-V) クラス： C

コマンド書式： PASS n(0~\$7F)  
PAS n(0~\$7F)

パラメーター： n … パス機能を実行させるキーを設定します。

文 例： PASS \$17  
PAS \$15

関連コマンド： BTEXT, CTEXT, DTEXT, MTEXT

説 明： TNCには、特定の動作のためにいくつかの制御コードがあります。  
この制御コードは、パケットデータとして送ることができません。例  
えば、[CTRL-C]を送ろうとすると、TNCはコマンドモードへ移行  
してしまいます。そこで、たとえ制御コードがあってもデータとして  
送ることができるように、この「PASS」が用意されています。

「PASS」で設定したキーを、送りたい制御コードの前に入力し続けて  
制御コードを入力すると、この制御コードは、データとして送信する  
ことができます。

「PASS」の機能を使うと、「BTEXT」、「CTEXT」、「DTEXT」や、「MT  
EXT」の各コマンドの中に、[CR(改行)]コードを含めたメッセージ  
にすることが可能になります。

-----  
P A S S A L L パケットモード専用 3960  
-----



略語： PASSA 初期設定： OFF クラス： L

コマンド書式： PASSALL ON/OFF  
PASSA ON/OF

パラメーター： ON … 受信パケットにエラーがあってもパケットを受け取ります。  
OFF … 受信パケットにエラーがあればパケットを受け取りません。

文 例： PASSALL ON  
PASSA OF

関連コマンド： MHEARD, RETRY

説 明： AX.25パケット通信では、CRCコードと呼ばれる誤り制御方式を用いたFCS(フレームチェックシーケンス)で、各フレームの誤り検出をします。通常は、[OFF]にすると、CRC演算の結果、エラーと判断されると、そのパケットはデータとして受付ません。再送要求します。

電波状態が悪く何回再送しても、エラーが多く能率が上がらないときには、「PASSALL」を[ON]とすると、エラーパケットでも受け入れます。このときは、「MHEARD」コマンドの記録はおこないません。一時的に[ON]にしたとしても、エラーフリー通信の特徴を出すためにその通信が終了した後は、必ず[OFF]に戻しておいてください。使用するターミナルソフトによっては、ハングアップ状態になる場合がありますのでご承知ください。

---

PERSIST パケットモード専用 3991

略語： PE 初期設定： 127 クラス： T

コマンド書式： PERSIST n(0~255)  
PE n(0~255)

パラメーター： n … P-persisten CAMS方式の確率を設定します。

文 例： PERSIST 70  
PER 50

関連コマンド： PPERSIST, SLOTTIME

説 明： CSMA(Carrier Sense Multiple access)搬送波検出の略です。通常の方式(Persisten CSMA)、とP-Persisten方式の2方式が切り替え使用できるようになっています。このコマンドは送出の確率Pを設定するコマンドです。確率Pとパラメーター[n]の関係は、次の方式で計算されます。

$$P = (n + 1) / 256$$

---

PPERSIST 4015

略語： PP 初期設定： ON クラス： T

コマンド書式： PPERSIST ON/OFF  
PP ON/OF

パラメーター： ON … 「PERSIST」コマンドと「SLOTTIME」コマンドで設定されたランダム値にて、PTTをONにする。

OFF … 一般の搬送波検出方式で PTT を ON にする。

文 例： PPERSIST ON  
PP OF

関連コマンド： DWA I T, PERS I S T, SLO T T I M E

説 明： 通常の CSMA では、「DWA I T」コマンドの設定時間を待って搬送波検出をして、空いていれはすぐに PTT を ON にします。  
このコマンドを [ON] にすると、空いたときから「SLO T T I M E」コマンドと「PERS I S T」コマンドによって計算されたランダム時間を待ってから PTT を ON にします。

BBS の多い周波数では、このコマンドを [ON] にした方がパケットの衝突は少なくなると思われます。

「PPERSIST」を [ON] にしますと、「DWA I T」コマンドの設定値は常に [0] として動作します。

-----  
P T T CWモード専用 4044  
-----

略語： P T T 初期設定： 0 クラス： B

コマンド書式： PTT n(0~120)

パラメーター： n … 送信データが無くなってから、PTT を OFF にするまでの時間を、 $n \times 100\text{ms}$  で設定します。

文 例： PTT 15  
PTT 0

関連コマンド： なし

説 明： PTT 出力を自動的に ON / OFF したいとき、送信データが無くなってから PTT を OFF にするまでの時間を設定します。

「0」を設定すると、PTT 出力は下記のコンピュータのキーボードからの直接コマンドのみで制御されます。

CTRL-T PTT を ON

CTRL-R PTT を OFF

尚、この制御ができるのはパラメータに「0」を設定した場合のみであり、その他のパラメータでは動作の保証はいたしません。

-----  
R A D I O 4070  
-----

略語： R A D 初期設定： 1 クラス： L

コマンド書式： RADIO n(1~2)

パラメーター： n … 使用する RADIO ポートの選択

文 例： RADIO 1  
RAD 2

関連コマンド： なし

説 明： TNC-555 は通信出使用できる RADIO ポートが 2 系統用意されていますので、そのどちらを使用するかを選択をするコマンドです。



関連コマンド： FILE, KILL, LIST, MINE, WRITE

説明： メッセージボード内のメッセージを読むためのコマンドです。

---

RECONNECT (RE-CONNECT) パケットモード専用 4154

---

略語： REC 初期設定： - クラス： D

コマンド書式： RECONNECT call VIA call1, call2, call3, ~call8  
REC call VIA call1, call2, call3, ~call8

パラメーター： デジピートルートを変更したい局を入力します。

文 例： RECONNECT JA1◇◇◇VIA JA1☆☆☆, JA1◎◎◎  
REC JA1◇◇◇VIA JA1☆☆☆, JA1◎◎◎

関連コマンド： CONNECT, DISCONNECT

説明： 相手局とコネクト状態にあるときディスコネクトしないでデジピートルートなどを変更する場合に、このコマンドを使用します。例えば、直接コネクトしていて、途中電波状態が悪くなりリトライが多く相手局との間にデジピート局を入れたいときなどに使用します。

このコマンドは、コネクトしていないと動作しません。

---

REDISPLAY (RE-DISPLAY) パケットモード専用 4177

---

略語： RED 初期設定： \$12 (CTRL-R) クラス： C

コマンド書式： REDISPLAY n(0~\$7F)  
RED n(0~\$7F)

パラメーター： n … 入力途中でデータを再表示させる文字コードを設定します。

文 例： REDISPLAY \$13  
RED \$11

関連コマンド： FLOW

説明： コンバースモードでQSOしている場合、キー入力はその行が完全に入力し終るまでパケットを受信しても、表示されません。  
(「FLOW」コマンドが「ON」の時)  
特に、長い文章を入力していると受信パケットが気になります。  
このような場合、入力途中で「REDISPLAY」で設定した文字コードを入力すると、受信パケットを表示するとともに、今まで、入力した文章を改めて表示します。もちろん、入力は続けておこなえます。

---

RELINK パケットモード専用 4201

---

略語： REL 初期設定： OFF クラス： L

コマンド書式： RELINK ON/OFF  
REL ON/OFF

パラメーター： ON … 再送信回数が規定回数となると、再びコネクト要求を送信します。

OFF … 再送信回数が規定回数となると、ディスコネクトする。

文 例： RELINK ON  
REL OF

関連コマンド： CONPERM, RETRY, TRIES

説 明： I フレームを送信した後に、「RETRY」コマンドで設定された回数だけ再送信をおこない、その後どのような動作をするかを指定します。

「CONPERM」コマンドは、コネクト中でなければ [ON] にはできませんが、このコマンドは、いつでも [ON] することができます。ただし、このコマンドはマルチコネクトによってチャットをしているときに、ディスコネクトを防止するために作られたコマンドです。使用には注意が必要です。

「CONPERM」コマンドとは違って、再コネクト要求が規定回数になったときはディスコネクトします。

-----  
REPT CW, TTY モード\* (ARQ, S-FEC は除く) 専用 4231  
-----

略語： REPT 初期設定： 0 クラス： B

コマンド書式： REPT n(0~65535)

パラメーター： n … メモリーチャンネルのリピート送信間隔を  $n \times 1$  秒で設定します。

文 例： REPT 30  
REPT 0

関連コマンド： なし

説 明： このパラメータを「0」以外にすると、メモリーチャンネル1をリピート送信することができます。  
nの値は、メモリーチャンネル1を送信終了するのに必要な時間よりも大きく設定してください。

- \* リピートを中止するには、次のいずれかの方法で行うことができます
1. キーボードのいずれかのKEYを押す。
  2. PADDLEをONする。
  3. CTRL-Cでコマンドモードに戻す。

-----  
RESET パケットモード専用 4258  
-----

略語： RESET 初期設定： - クラス： D

コマンド書式： RESET

パラメーター： なし

文 例： RESET

関連コマンド： RAMTEST, RESTART

説 明： TNCに設定されているパラメーターを初期値に戻すコマンドです。このコマンドを実行しても、メッセージボードに書き込まれている





おこなう。  
OFF … 「XFLOW」コマンドが [ON] のときは、ハードによるフロー制御はおこなわない。

文 例： RSFLOW ON  
RS OF

関連コマンド： X F L O W

説 明： T N Cからターミナルに送られるデータをターミナル側から制御する方法を変更します。

[ON] に設定すると、T A P RのT N C-2用のROMの動作や弊社の1. 1. 4 T Jと同じで、「XFLOW」コマンドを [ON] にするとソフトフロー制御とハードフロー制御が同時におこなわれます。

[OFF] に設定すると、弊社の1. 1. 5 T Jと同様に「XFLOW」コマンドが [ON] のときは、ソフトフロー制御だけ（「START」コマンドと、「STOP」コマンドで設定されたコードによりT N Cからターミナルへ送る送信データのフロー制御）がおこなわれ、そして「XFLOW」コマンドが [OFF] のときには（R T S o r D T R）によるハードフロー制御だけがおこなわれます。

-----  
RTBAUD TTYモード(5単位B audot)専用 4419  
-----

略語： RTB 初期設定： 45 クラス： B

コマンド書式： RTBAUD n(45, 50, 75)  
RTB n(45, 50, 75)

パラメーター： n … TTY（5単位B audot）モード時の通信ボーレートを設定。  
45…45.45 ボー（60WPM）  
50…50 ボー（67WPM）  
75…74.2 ボー（100WPM）

文 例： RTBAUD 50  
RTB 45

関連コマンド： S H I F T

説 明： T T Y（5単位B audot）モード時の通信ボーレートの設定。  
3種のボーレートと「SHIFT」コマンドによるシフトの変更で以下のパターンがあります。

45.45 ボー（60WPM） 170Hzシフト  
50 ボー（67WPM） 170, 425, 850Hzシフト  
74.2 ボー（100WPM） 170, 425, 850Hzシフト

※ アマチュア局によるR T T Y通信は、  
45.45ボーの170Hzシフト  
が主流になっています。

-----  
RTTY TTYモード専用 4448  
-----

略語： RTTY 初期設定： OFF クラス： A

コマンド書式： RTTY ON/OFF  
RTTY ON/OF

パラメーター： ON … T T Yモードになったとき、通信モードでスタートします。  
OFF … T T Yモードになったとき、コマンドモードでスタートします。





文 例： RXDELAY 120  
RXD 20

関連コマンド： TXDELAY

説明： TTYモード時、送信状態から、CTRL-Rで受信状態に切り替えるとき、送信状態から、受信状態へ変わるまでの時間の設定。

通常、このコマンドを変更する必要はありませんが、まれに送信からPTTがOFFになって受信するまでの送信ディレイタイム（送信成分が無くなるまでの時間）が長い物（真空管使用の送信機などの一部がこれにあたる）があり、これらについての受信段の保護のためにこのコマンドがあります。

時間の設定は[n×0.1秒]です。

-----  
RXREV TTYモード専用 4539  
-----

略語： RXR 初期設定： OFF クラス： B

コマンド書式： RXREV ON/OFF  
RXR ON/OF

パラメーター： ON … 逆（リバース）シフトで受信します。  
OFF … 正（ノーマル）シフトで受信します。

文 例： RXREV ON  
RXR OF

関連コマンド： EXTM, TXREV

説明： 使用する送信機の送信モード、SHIFT幅に合わせて設定します。

\* LSBモードでは、AMTORと「SHIFT N」でアマチュアのRTTY、ASCIIを受信する場合は、[ON]。  
USBモードでは、AMTORと「SHIFT N」でアマチュアのRTTY、ASCIIを受信する場合は、[OFF]です。

-----  
SCREENLN FAXモードを除く 4563  
-----

略語： S 初期設定： 0 クラス： A

コマンド書式： SCREENLN n(0~255)  
S n(0~255)

パラメーター： n … ターミナルに表示させる1行の文字数を設定します。

文 例： SCREENLN 74  
S 40

関連コマンド：

説明： 自動改行機能があるターミナルの場合には初期値で問題ないです。  
このコマンドで、文字数を設定するとTNCはその文字数でターミナルに自動的にCR、LFコードを送ります。

-----  
SELALL TTYモード (AMTOR/TOR) 専用 4583  
-----

略語: SEL 初期設定: ON クラス: B

コマンド書式: SELALL ON/OFF  
SEL ON/OF

パラメーター: ON ... 自分宛以外のS-F E Cも受信する。  
OFF ... 自分宛以外のS-F E Cは受信しない。

文 例: SELALL ON  
SEL OF

関連コマンド: SELCAL, ASELCAL

説明: このパラメーターを「ON」にすると、自分宛以外のすべてのS-F E C (セルコールを使用するF E C)を受信することができます。

-----  
SELCAL TTYモード (AMTOR/TOR) 専用 4603  
-----

略語: SE 初期設定: - クラス: I

コマンド書式: SELCAL (CALL)  
SE (CALL)

パラメーター: CALL ... 4文字のアルファベットによる自分のセルコールを設定

文 例: SELCAL JABC  
SE JXYZ

関連コマンド: ASELCAL

説明: パケットモードでのMYCALLに相当します。ただし、SELCALを設定しなくても送信は可能です。

先頭に「%」を書き込むことにより、消去することができます。

-----  
SEND CW CWモード専用 4624  
-----

略語: SEND CW 初期設定: \$00 クラス: C

コマンド書式: SEND CW n(\$00~\$FF)

パラメーター: n ... 送信のきっかけとなるキーコードを設定します。

文 例: SEND CW \$20

関連コマンド: SEND TTY

説明: 「SEND CW」コマンドには初期設定として「\$00」が設定されています。この状態では、キーを押すとすぐにそのキーに該当するモルルス信号を送信します。「\$00」以外を設定すると、そのキーまたはCR (RETURN) キーが押されるまで送信は保留されます。

---

**SENDOK**CW, TTYモード専用 4644

---

略語: SENDOK 初期設定: ON クラス: B

コマンド書式: SENDOK ON/OFF  
SENDOK ON/OFパラメーター: ON ... PTTとCWのKEY-OUTをONにできる。  
OFF ... PTTとCWのKEY-OUTをONしない。

文 例: SENDOK ON

関連コマンド: K, PTT

説 明: 送信する必要がないとき、謝って送信することを防ぐコマンドです。

送信の必要がない場合はこのコマンドを「ON」にすることによって、KEY-OUT端子からの出力が停止します。

---

**SENDPAC**パケットモード専用 4665

---

略語: SE 初期設定: \$0D (CR) クラス: C

コマンド書式: SENDPAC n(0~\$7F)  
SE n(0~\$7F)

パラメーター: n ... パケットを送信させるキーコードを設定します。

文 例: SENDPAC \$0E

関連コマンド: CPACTIME, CR, PACLEN

説 明: コンバースモードで、このコマンドで設定されたキーを入力すると、それまで入力した文字をパケットにして送信します。通常は、初期値のCRコードを使用します。長い文章を入力すると、「PACLEN」コマンドで設定した文字数になり送信されることがあります。「SENDPAC」コマンドと合わせて複数のパケットになることもあります。

---

**SENDTTY**TTYモード専用 4686

---

略語: SENDTTY 初期設定: \$00 クラス: C

コマンド書式: SENDTTON/OF (\$00~\$FF)

パラメーター: n ... 送信のきっかけとなるキーコードを設定します。

文 例: SENDTTY \$20

関連コマンド: SENDCW

説 明: 「SENDCTTY」コマンドには初期設定として「\$00」が設定されています。この状態では、キーを押すとすぐにそのキーに該当するRTTY信号を送信します。「\$00」以外を設定すると、そのキーまたはCR (RETURN) キーが押されるまで送信は保留されます。

SHIFT TTYモード専用 4706

略語: SHI 初期設定: N クラス: B

コマンド書式: SHIFT N  
SHI M  
SHI W

パラメーター: N ... 内蔵モデムの動作をマーク 2, 125 Hz、スペース 2, 295 Hz  
に設定します (170 Hz シフト)。  
M ... 内蔵モデムの動作をマーク 1, 700 Hz、スペース 2, 125 Hz  
に設定します (425 Hz シフト)。  
W ... 内蔵モデムの動作をマーク 1, 275 Hz、スペース 2, 125 Hz  
に設定します (850 Hz シフト)。

文 例: SHIFT N  
SHI M

関連コマンド: RXREV, TXREV

説明: RTTY、ASCIIモードのシフト幅の選択を行います。  
選択できるシフト幅は

N 170 Hz シフト  
M 425 Hz シフト  
W 850 Hz シフト

となります。

AMTORモードでは「N」と「M」のみで、「W」は選択できません。

マークとスペースは「RXREV」、「TXREV」を「ON」にすると逆になります。

SLOTTIME パケットモード専用 4739

略語: SL 初期設定: 3 クラス: T

コマンド書式: SLOTTIME n(0~250)  
SL n(0~250)

パラメーター: n ... 「PPERSIST」コマンドを「ON」にして使用時に、「PERSIST」  
]で外れると再度ランダム発生をおこないます。この間隔を  
[n×10mS]で設定します。

文 例: SLOTTIME 10  
SL 3

関連コマンド: PERSIST, PPERSIST

説明: 「PPERSIST」コマンドを「ON」にして使用しているとき、PTTのO  
Nになる確率を「PERSIST」コマンドの値と「SLOTTIME」の値で設定  
します。

SOFTDCD パケットモード専用 4761

略語: SOFTDCD 初期設定: OFF クラス: L

コマンド書式: SOFTDCD ON/OFF  
SOFTDCD ON/OF

パラメーター： ON … 送信の待機をソフトウェアによる有効データ検出でおこな  
います。  
OFF … 送信の待機をハードウェアの信号キャリア検出でおこな  
います。

文 例： SOFTDCD ON  
SOFTDCD OF

関連コマンド： なし

説 明： SSBモードで使用するとき、スケルチがなくても「SOFTDCD」コマン  
ドを[ON]にすれば送信可能となります。

---

SPACELEN TTYモード専用 4784

---

略語： SPA 初期設定： 58 クラス： B

コマンド書式： SPACELEN n(0~255)  
SPA n(0~255)

パラメーター： n … SPACE後に自動改行する文字数を設定します。

文 例： SPACELEN 0  
SPA 65

関連コマンド： CRLLEN, CRTTY, LFTTY

説 明： 送信文1行の文字数が、この数値に達した後にSPACEを入力す  
ると、自動改行をおこないます。

自動改行をおこなうときは、「CRTTY」コマンド、「LFTTY」コマンドの  
動作設定にしがいます。

「0」を設定すると、自動改行の機能は停止します。

---

SPEED CW、TTYモード専用 4808

---

略語： SP 初期設定： 15 クラス： B

コマンド書式： SPEED n(4~50)  
SP n(4~50)

パラメーター： n … モールス符号の送信速度を設定します。  
尚、パラメータの数値は直接WPMを表しています。

文 例： SPEED 20  
SP 5

関連コマンド： LOCK, CWID

説 明： CWの送信速度を設定します。「LOCK」コマンド[ON]のとき、受信速  
度もこの設定に従います。

TTYモードの「CWID」の送信速度もこの設定に従います。

分速への換算は、欧文では5倍、和文では4.5倍にすれば、ほぼ  
合致するでしょう。









関連コマンド： CANLINE

説明： 通信バッファ内のデータを消去するための直接コマンドです。送信したデータに対して、相手局からの確認パケットが受信されていない送出パケット以外の送信バッファ内の全データを消去することができます。

このコマンドはコマンドモードだけで有効です。

-----  
TECHO CW、TTYモード専用 5027  
-----

略語： T 初期設定： OFF クラス： B

コマンド書式： TECHO ON/OFF  
T ON/OF

パラメーター： ON … データが送信されてからターミナルにエコー表示をする  
OFF … データが送信バッファに書き込まれると同時に、ターミナルにエコー表示をする。

文 例： TECHO ON  
T OF

関連コマンド： ECHO

説明： ターミナルで使用する通信ソフトによっては、エコーバックするデータは、実際に送信された物のほうが良い場合があります。このような通信ソフトを使用するときには「TECHO」コマンドを[ON]に設定します。

-----  
TIME パケットモード専用 5050  
-----

略語： TI 初期設定： \$14 (CTRL-T) クラス： C

コマンド書式： TIME n(0~\$7F)  
TI n(0~\$7F)

パラメーター： n … TIMEを送信させるキーを設定します。

文 例： TIME \$1C  
TI \$14

関連コマンド： DAYSTAMP, DAYTIME

説明： 送信バッファ内や「BTEXT」、「CTEXT」、「DTEXT」、「MTEXT」内に、時刻データの代わりに書き込むコマンド文字を設定します。初期設定値は [CTRL-T] になっていますので、この文字を送信データに中に書き込むと、送信中にこのコマンド文字を読みだした時点で、内蔵の時計を読み取り、その瞬間の時間を送信データとしてコマンド文字のかわりに送信します。時刻データの前後には、何も追加されませんので必要な場合はスペース等を前後に入れてください。時分の桁まで送信され、秒の桁は送信されません。

「BTEXT」、「CTEXT」、「DTEXT」、「MTEXT」内で使用する時は、実際送信されるデータをそのTEXTの最大値以内となるようにしてください。





関連コマンド： R E T R Y

説明： 「RETRY」コマンドによってリトライの最大回数が設定できますが、これに対して「TRIES」は何回リトライが発生したか表示させることもできます。リトライカウンターの内容を書き換えることもできます。ただし「TRIES」は、一時的にリトライカウンターの内容を変更するだけで「RETRY」コマンドの設定内容を変更する訳ではありません。リトライカウンターの内容確認は「TRIES」とだけ入力すると回数が表示されます。

-----  
TTY TTYモード専用 5214  
-----

略語： TTY 初期設定： R クラス： I

コマンド書式： TTY パラメータ

パラメーター： R … 5単位RTTY (Baudot)  
A … ASCII  
T … TOR (AMTOR) C-FEC  
S … TOR (AMTOR) S-FEC  
L … TOR (AMTOR) 受信専用

文 例： TTY T  
TTY L

関連コマンド： M O D E

説明： TTYモードの中での動作モードを指定するコマンドです。

- \* 通常、RTTYと呼ばれているものは正確には5単位Baudotコードのことを指します。設定は「TTY R」です。
- \* 通常、AMTORと呼ばれているものは、ARQとFEC(C-FECのみ)です。設定は「TTY T」です。
- \* 「TTY L」は、AMTORでのモードA (ARQモード)での通信をモニターするための、受信専用のモードです。
- \* 「TTY T」は、AMTORでのモードB (FECモード)での通信で、送信にセルコールを使わない”コレクティブFEC”を設定します。
- \* 「TTY S」は、AMTORでのモードB (FECモード)での通信で、送信にセルコールを使う”セレクトティブFEC”を設定します。ただし、アマチュア局ではほとんどは使われてはいないようです。
- \* 「TTY T」と「TTY S」はモードA (ARQモード)での動作はどちらも同じです。

-----  
TUNE CWモード専用 5251  
-----

略語： TUNE 初期設定： - クラス： D

コマンド書式： TUNE

パラメーター： なし

文 例： TUNE

関連コマンド： なし

説明： CW送信機の終段部調整用のコマンドです。

このコマンドが実行されると

1. CW KEY-OUTがONになる。
2. AFSKに800Hzの音が出力される。

30秒後に自動的に終了しますが、キーボードのいずれかのキーを押すか、PADDLE（電鍵）をONにすることにより直ちに終了します。

---

TXDELAY 5275

---

略語： TX 初期設定： 50 クラス： T

コマンド書式： TXDELAON/OFF (0~120)  
TX n(0~120)

パラメーター： n … PTTをONにしてから、データを送信開始するまでの時間を [n×10mS] で設定する。

文 例： TXDELAY 30  
TX 30

関連コマンド： AXDELAY, AXHANG

説 明： PTTをONにしてから、データを送信開始するまでの時間設定をします。  
無線機によって、送信の立ち上がり時間に違いがあります。この立ち上がり時間を設定することによって、データの先頭部分の欠落を防止します。

一般的なトランシーバーは初期設定値の [50 (0.5秒)] よりも早い立ち上がりをしていますので問題はないと思いますが、ハンディトランシーバーの一部には、比較的遅い機種もありますので注意してください。

受信の立ち上がりの遅いトランシーバーを相手に通信をおこなう場合にも相手に合わせて大きくしなければならない場合があります。

---

TXFLOW パケットモード専用 5306

---

略語： TXF 初期設定： OFF クラス： A

コマンド書式： TXFLOW ON/OFF  
TXF ON/OFF

パラメーター： ON … トランスペアレント（透過）モードでパソコンからTNCへのデータのソフトフロー制御をする。  
OFF … トランスペアレント（透過）モードでパソコンからTNCへのデータのソフトフロー制御をしない。

文 例： TXFLOW ON  
TXF OF

関連コマンド： XON, XOFF, XFLOW, TRFLOW

説 明： 「TXFLOW」はトランスペアレントモードのとき、パソコンからTNCへの [XON]、[XOFF] コードによるデータのソフトウェアフロー制御をするか、しないかを切り替えるコマンドです。

このコマンドを [ON] にすると不完全なトランスペアレントモードになります。

※「XFLOW」コマンドが [OFF] のときは、このパラメーターは常に [OFF] とみなされます。

「TRFLOW」コマンドが [OFF] のとき、および [XON] と [XOFF] のパラメーターがともに「0」のときも同様です。

---

TXREV TTYモード専用 5337

---

略語: TXR 初期設定: OFF クラス: B

コマンド書式: TXREV ON/OFF  
TXR ON/OF

パラメーター: ON ... 逆 (リバース) シフトで送信します。  
OFF ... 正 (ノーマル) シフトで送信します。

文 例: TXREV ON  
TXR OF

関連コマンド: EXTM, RXREV

説明: 使用する送信機の送信モード、SHIFT幅に合わせて設定します。

\* LSBモードでは、AMTORと「SHIFT N」でアマチュアのRTTY、ASCIIを送信する場合は、[ON]。  
USBモードでは、AMTORと「SHIFT N」でアマチュアのRTTY、ASCIIを送信する場合は、[OFF]です。

---

TXUIFRAM パケットモード専用 5361

---

略語: TXU 初期設定: ON クラス: L

コマンド書式: TXUIFRAM ON/OFF  
TXU ON/OF

パラメーター: ON ... アンプロトでCQなどのパケットを送信できます。  
OFF ... デジピートとビーコン以外のアンプロトのパケットは送信しません。

文 例: TXUIFRAM ON  
TXU OF

関連コマンド: NEWMODE, NOMODE

説明: このパラメーターを [OFF] にすると、デジピートおよび、ビーコン以外のアンプロトのパケット (コネク特している特定の相手向けではなくて、不特定多数向けのパケット) を送信しません。

ターミナル (パソコン、ワープロ等) から送られて来た送信データはコネク特中にはそのまま相手局に向けて送信されますが、ディスコネク特中には送信されることなくすべて捨てられます。  
RBBS用のTNCとして使用するとき、またはメッセージボードのファイルを送出中等にディスコネク特が起きてても、「TXUIFRAM」を [OFF]、そして「NEWMODE」コマンドが [OFF] に設定されていれば未送信のデータを延々とアンプロトで送出し続けることがなくなります。





※マルチコネクトは、最大10局からの割り込みができます。  
また、コネクト中でも別の局に自分からコネクトもできます。

-----  
USOS TTYモード (ASCIIを除く)専用 5455  
-----

略語: USO 初期設定: OFF クラス: B

コマンド書式: USOS ON/OFF  
USO ON/OF

パラメーター: ON ... SPACEを受信すると、受信ケースをLTRSにする。  
OFF ... 受信ケースの変更はおこなわない。

文 例: USOS ON  
USO OF

関連コマンド: なし

説 明: SPACEを受信した時、受信ケースをLTRS (英文字) にするか  
どうかを設定する。

-----  
WAIT TTYモード (5単位Baudot, ASCII)専用5475  
-----

略語: WA 初期設定: 0 クラス: T

コマンド書式: WAIT n(0~120)  
WA n(0~120)

パラメーター: n ... 追加するストップビットのビット数。

文 例: WAIT 5  
WA 2

関連コマンド: なし

説 明: 1文字送信するごとに、ストップビット、(MARK信号)に、こ  
こで設定したビット数を追加して、文字の送信間隔を引きのばす。

-----  
WEIGHT CWモード専用 5494  
-----

略語: WE 初期設定: 0 クラス: B

コマンド書式: WEIGHT n(0,1~255)  
WE n(0,1~255)

パラメーター: n ... 標準は「128」になります。パラメータの値を「128」から小さく  
すると長点(DASH)の長さは標準より短くなり、「128」よ  
り大きくすると長くなります。

文 例: WEIGHT 160  
WE 90

関連コマンド: なし

説 明: 長点(DASH)の長さは、通常は短点(DOT)の長さの3倍ですが、  
このコマンドにより長点の長さを変更できます。

nが「1」の場合、長点は短点の1.5倍の長さ  
nが「255」の場合、6倍の長さ

標準の3倍にするには「128」を設定してください。

\* 初期設定の「0」はパラメータの値「128」と同じ意味をもち、長さは標準の3倍になります。

---

WR I T E 5523

---

略語： W 初期設定： なし クラス： D

コマンド書式： WRITE Cal  
W Call

パラメーター： Call … 相手先のコールサイン

文 例： WRITE JA1xxx  
W

関連コマンド： FILE, KILL, LIST, MINE, READ

説 明： メッセージボードにメッセージを書き込む場合のコマンドです。  
パラメーターとして、Callを追加し書き込みをすると、その局だけが読むことのできるパーソナルメッセージになります。単に [W] とだけすると相手先は自動的にALLになり、誰でも読むことのできるメッセージになります。

WRITE JA1xxx (CR)や、W JA1xxx (CR)あるいは、W(CR)として書き込み指定をすると、「Subject:」と表示されて、タイトルの入力の要求があります。32バイト（半角は32文字、全角時は16文字）以内で、見出しを書いてください。

見出しを書き込むと、「Message:」と表示されます。メッセージの本文を書き込んでください。メッセージボードの残容量を越えたメッセージの入力をおこなうと、自動的に書き込みを終了して、そのメッセージは消去されます。あらかじめ、「FILE」コマンドで残容量の確認をおこなってください。

書き込みの終了は、(CR) (CTRL-Z) (CR)または、(CR)/EX(CR)と入力します。

---

X F L O W 5557

---

略語： X 初期設定： ON クラス： A

コマンド書式： XFLOW ON/OFF  
X ON/OF

パラメーター： ON … ソフトウェア（[XON]、[XOFF]、[START]、[STOP]）でのフロー制御をおこなう。  
OFF … ハードウェアでのフロー制御をおこなう。

文 例： XFLOW ON  
X OF

関連コマンド： XON, XOFF, TRFLOW, TXFLOW, START, STOP

説明： 「XFLOW」を [ON] で [XON] / [XOFF] コードによるフロー制御がおこなわれます。これはTNCからターミナルに対してソフトウェアによるフロー制御をおこなうことで、ターミナルからTNCに対しては [START]、 [STOP] パラメーターでソフトフロー制御をおこないません。

TNCがターミナルに向けて [XON] または、 [XOFF] のコードを送出することにより、ターミナルがTNCへ向けて出すデータが制御されます。「XFLOW」が [OFF] のときには、この制御はハードウェアのCTS出力だけでおこなわれます。また、DTR (またはRTS) 入力により、TNCがターミナルに向けて出すデータの制御がおこなわれます。

- ※トランスペアレントモードで使用するとき、「XFLOW」を [OFF] にすれば、完全なトランスペアレントモードになります。
- ※「XFLOW」を [ON] にした場合には、「RSFLOW」コマンドも [ON] になっていると、TAPRのTNC-2の動作と同様に、ソフトフロー制御とハードフロー制御の2つのフロー制御を同時におこないます。
- ※TNCに内蔵のメッセージボードを動作させたまま、パソコンの電源をOFFにする場合は、「XFLOW」と、「FLOW」、「RSFLOW」、「FLOWER」の各コマンドの設定に注意が必要です。適切な設定をおこなわないと、メッセージボードが正常な動作をしない場合があります。

※RS-232Cを4800<sup>bps</sup>以上に設定する場合は、ハードウェアフロー制御をおこなってください。

---

XMITOK 5603

略語： XM 初期設定： OFF クラス： L

コマンド書式： XMITOK ON/OFF  
XM ON/OF

パラメーター： ON … パケットの送信ができます。  
OFF … パケットの送信ができません。

文 例： XMITOK ON  
XM OF

関連コマンド： CONOK, DIGIPEAT, MYCALL

説明： 「XMITOK」コマンドはパケットの送信を許可/禁止をします。  
[OFF] すると無線機のPTTは動作しなくなります。デジピーターのPTT動作もしなくなります。「MYCALL」を設定すると、自動的に [ON] に設定されます。  
TAPRのROMの初期値は [ON] です。 [OFF] の状態において、「MYCALL」を設定しても [ON] に変わることはありません。

---

XOFF 5627

略語： XO 初期設定： \$13 (CTRL-S) クラス： C

コマンド書式： XOFF n(0~\$7F)

パラメーター： n … ターミナルのデータ伝送を一時停止させるためのコードを設定します。

文 例： XOFF \$14  
XO \$12

関連コマンド： START, STOP, XFLOW, XON, TXFLOW

説明： [XON]、[XOFF] は、ターミナル側からのTNCへデータ伝送のときにTNCが、使用するフロー制御コードです。これはターミナルが早すぎて、TNC側のバッファ一杯になると[XOFF]コマンドで設定されたコードをターミナルへ送ります。ターミナルはこのコマンドを受けたら一旦停止しなければなりません。

---

XON 5649

---

略語： XON 初期設定： \$11 (CTRL-Q) クラス： C

コマンド書式： XON n(0~\$7F)

パラメーター： n … 一旦停止しているターミナルに伝送を再開させるためのコードを設定します。

文 例： XON \$12

関連コマンド： START, STOP, XFLOW, XOFF, TXFLOW

説明： [XON]、[XOFF] は、ターミナル側からのTNCへデータ伝送のときにTNCが使用するフロー制御コードです。[XOFF]コードによって一旦停止しているターミナルへデータ伝送を再開させるためのコードを設定します。この設定されたコードをターミナルが受け取ったらデータ伝送を再開しなければなりません。

---

メッセージ一覧表 5673

---

cmd : コマンドモードでコマンド待ちの状態です

was XXX パラメーター変更時以前のパラメーターを表示します

?too many Packetes outstanding 未送信のパケットがいっぱいです

?bad パラメーターの指定が違います

?call コール名が間違っています

?EH コマンドが違います

?not enough パラメーターの数が不足しています

?not while connected

コネクト中で、変更できません

? a l r e a d y c o n n e c t e d t o t h a t s t a t i o n  
コネクト中もしくは呼び出し中です

? r a n g e  
設定範囲を越えています

? t o o l o n g  
一行が長すぎます

? t o o m a n y  
パラメーターの数が多すぎます

? V I A  
V I Aが見つかりません

? l i n k o u t o f r a n g e  
マルチコネクトの範囲を越えています

L i n k s t a t e i s : C O N N E C T E D t o C A L L 1,  
[ V I A C A L L 2 , . . . ]  
デジピート経路の表示

L i n k s t a t e i s : D I S C O N N E C T E D  
コネクトしていない

L i n k s t a t e i s : D I S C O N N E C T  
i n p r o g r e s s  
回線切断を要求中

L i n k s t a t e i s : F R M R i n p r o g r e s s  
コネクト中に相手とのプロトコルが異なってエラーが生じた

\* \* \* C O N N E C T E D t o : C A L L 1,  
[ V I A C A L L 2 . . . ]  
コネクトが成立した

\* \* \* c o n n e c t r e q u e s t :  
C A L L 1 , [ V I A C A L L 2 . . . ]  
他局からコネクト要求があった

\* \* \* D I S C O N N E C T E D  
回線が切断された

\* \* \* r e t r y c o u n t e x c e e d e d  
\* \* \* D I S C O N N E C T E D  
リトライ回数が設定値となりディスコネクトした

\* \* \* ( C A L L ) b u s y  
\* \* \* D I S C O N N E C T E D  
相手局が交信中のため回線が接続されない

\* \* \* F R M R s e n t  
フレーミングエラーの通知を送信した

\* \* \* F R M R r c v d  
フレーミングエラーの通知を受信した

C a l l D u p l i c a t e !  
コールIDが重複しています  
(MYCALLとMYMCALLに同じc a l l I を設定した)

bbRAM loaded with defaults

RAMのパラメーター設定が初期化された

bbRAM check complete!

RAMに正常にアクセスができる

bbRAM scanned, checksum failed!

RAMに異常が発見された（致命的エラーです。要修理）

clock scanned, failed!

時計専用ICに異常が発見された（致命的エラーです。）

-----  
HEALTHカウンターについての説明

5777  
-----

HEALTHカウンタの表示を実行しますと、下記に説明しているパラメーターが表示されます。これはヘルスカウンターと呼ばれるもので、TNCの動作状態を現しています。

元々はTNCのハードとソフトのチェック用ですのでTNCメーカーの技術者以外には必要の無いパラメーターもあります。

これらの数値は任意に変更ができますが、変更しても動作には全く影響ありません。

このパラメーターはRESTARTすると初期値の0が設定されます。

ASYRXOVR：TNCがコンピュータからのデータを受け取るときにオーバーランエラーを起こすとカウント・アップします、従って、これは常に0のはずです。これがカウントアップする場合は、コンピュータからTNCに送られるデータのフロー制御に不一致があると考えられます。

BBFAILED：RAMのデータがチェックサム・エラーを起こしたときにカウントアップします、従ってこれは常に0のはずです。チェックサムの確認は、パラメータを変更したときの他に、10分毎に自動的におこなわれ、ノイズ等の影響で、これが0以外になっていたときにRESTARTしますと、TNCは、自動的にRESET動作をします。

DIGISENT：TNCがデジピートするたびに、デジピートしたフレームの数をカウント・アップします。

HOVRERR：パケット受信時にTNCのHDLC受信部分がオーバーラン・エラーを起こしたときにカウント・アップします、従ってこれは常に0のはずです。

HUNDRERR：パケット送信時にTNCのHDLC送信部分がオーバーランエラーを起こしたときにカウント・アップします、従ってこれは常に0のはずです。

RCVDFRMR：コネクト中にFrame-Reject-Frame（フレーム拒絶フレーム）を受信すると、カウント・アップします。  
通信中に突然通信不能に陥りさらに、このカウンターがカウントアップしていた場合は、同一周波数に同じコールサインに設定したTNCが存在していないか確認してください。または、MYCALLとMYMCALLが同じに設定されていないか確認してください。まれに、送信側のTNCまたは、KISSモードで動作するソフトの不調で起きることもあります。

RCVDIFRA：コネクト中に、正常なI-Frame（情報フレーム）を受信すると、カウント・アップします。

RCVDREJ : コネクト中にREJ-F r a m e (再送要求フレーム)を受信すると  
カウント・アップします。

RCVDSABM : 自局へのSABM-F r a m e (コネクト要求フレーム)を受信す  
ると、カウント・アップします。

RXCOUNT : CRCが正常なパケットのフレームを受信やモニターするとカウン  
ト・アップします。

RXERRORS : CRCが異常なパケットのフレームを受信やモニターするとカウン  
ト・アップします。

SENTFRMR : F r a m e - R e j e c t - F r a m e (フレーム拒絶フレーム)  
を送信すると、カウント・アップします。

SENTIFRA : I - F r a m e (情報フレーム)を送信するとカウント・アップし  
ます。

SENTREJ : R E J - F r a m e (再送要求フレーム)を送信するとカウント・  
アップします。

TXCOUNT : フレームを送信するとカウント・アップします。

TXQOVFLW : 送信バッファがオーバーフローして、未送信のまま捨てられた  
フレームがあるとカウント・アップします。コネクトしているときには、  
このカウンタがカウント・アップすることは無いはずですが、  
アンプロトで短いフレームを連続して送信しようとするときには、  
ターミナルからの送信時の行末にウエイトを挿入しないと、カウント  
アップすることがあります。これがカウントアップすると、その送信  
フレームに文字抜けが発生したことを意味します。

TXTMO : パケット送信時にTNCのHDLC送信部分がタイムアウトを起こし  
たときにカウント・アップします、従ってこれは常に0のはずです。

-----  
A S C I I , J I Sコードと制御文字対応表 5861  
-----

10進	16進	制御文字	名称	10進	16進	制御文字	名称
Dec	Hex	Control	Mnemonic	Dec	Hex	Control	Mnemonic
0	\$00	CTRL-@	NUL	16	\$10	CTRL-P	DLE
1	\$01	CTRL-A	SOH	17	\$11	CTRL-Q	DC1
2	\$02	CTRL-B	STX	18	\$12	CTRL-R	DC2
3	\$03	CTRL-C	ETX	19	\$13	CTRL-S	DC3
4	\$04	CTRL-D	EOT	20	\$14	CTRL-T	DC4
5	\$05	CTRL-E	ENQ	21	\$15	CTRL-U	NAK
6	\$06	CTRL-F	ACK	22	\$16	CTRL-V	SON/OF
7	\$07	CTRL-G	BEL	23	\$17	CTRL-W	ETB
8	\$08	CTRL-H	BS	24	\$18	CTRL-X	CAN
9	\$09	CTRL-I	HT	25	\$19	CTRL-Y	EM
10	\$0A	CTRL-J	LF	26	\$1A	CTRL-Z	SUB
11	\$0B	CTRL-K	VT	27	\$1B	CTRL-[	ESC
12	\$0C	CTRL-L	FF	28	\$1C	CTRL-¥	FS
13	\$0D	CTRL-M	CR	29	\$1D	CTRL-]	GS
14	\$0E	CTRL-N	SO	30	\$1E	CTRL-^	RS
15	\$0F	CTRL-O	SI	31	\$1F	CTRL-	US
				127	\$7F	DELETE	DEL

10進	16進	文字	10進	16進	文字	10進	16進	文字
Dec	Hex	Character	Dec	Hex	Character	Dec	Hex	Character
32	\$20	(SP)	48	\$30	0	64	\$40	@
33	\$21	!	49	\$31	1	65	\$41	A
34	\$22	"	50	\$32	2	66	\$42	B
35	\$23	#	51	\$33	3	67	\$43	C
36	\$24	\$	52	\$34	4	68	\$44	D
37	\$25	%	53	\$35	5	69	\$45	E
38	\$26	&	54	\$36	6	70	\$46	F
39	\$27	'	55	\$37	7	71	\$47	G
40	\$28	(	56	\$38	8	72	\$48	H
41	\$29	)	57	\$39	9	73	\$49	I
42	\$2A	*	58	\$3A	:	74	\$4A	J
43	\$2B	+	59	\$3B	;	75	\$4B	K
44	\$2C	,	60	\$3C	<	76	\$4C	L
45	\$2D	-	61	\$3D	=	77	\$4D	M
46	\$2E	.	62	\$3E	>	78	\$4E	N
47	\$2F	/	63	\$3F	?	79	\$4F	O

10進	16進	文字	10進	16進	文字	10進	16進	文字
Dec	Hex	Character	Dec	Hex	Character	Dec	Hex	Character
80	\$50	P	96	\$60	`	112	\$70	p
81	\$51	Q	97	\$61	a	113	\$71	q
82	\$52	R	98	\$62	b	114	\$72	r
83	\$53	S	99	\$63	c	115	\$73	s
84	\$54	T	100	\$64	d	116	\$74	t
85	\$55	U	101	\$65	e	117	\$75	u
86	\$56	V	102	\$66	f	118	\$76	v
87	\$57	W	103	\$67	g	119	\$77	w
88	\$58	X	104	\$68	h	120	\$78	x
89	\$59	Y	105	\$69	i	121	\$79	y
90	\$5A	Z	106	\$6A	j	122	\$7A	z
91	\$5B	[	107	\$6B	k	123	\$7B	{
92	\$5C	¥	108	\$6C	l	124	\$7C	
93	\$5D	]	109	\$6D	m	125	\$7D	}
94	\$5E	^	110	\$6E	n	126	\$7E	~
95	\$5F		111	\$6F	o	127	\$7F	DELETE

10進	16進	文字	10進	16進	文字	10進	16進	文字	10進	16進	文字
Dec	Hex	Cha	Dec	Hex	Cha	Dec	Hex	Cha	Dec	Hex	Cha
160	\$A0	(SP)	176	\$B0	-	192	\$C0	々	208	\$D0	ミ
161	\$A1	。	177	\$B1	ア	193	\$C1	チ	209	\$D1	ム
162	\$A2	「	178	\$B2	イ	194	\$C2	ツ	210	\$D2	メ
163	\$A3	」	179	\$B3	ウ	195	\$C3	テ	211	\$D3	モ
164	\$A4	、	180	\$B4	エ	196	\$C4	ト	212	\$D4	ヤ
165	\$A5	・	181	\$B5	オ	197	\$C5	ナ	213	\$D5	ユ
166	\$A6	ヲ	182	\$B6	カ	198	\$C6	ニ	214	\$D6	ヨ
167	\$A7	ァ	183	\$B7	キ	199	\$C7	ヌ	215	\$D7	ラ
168	\$A8	ィ	184	\$B8	ク	200	\$C8	ネ	216	\$D8	リ
169	\$A9	ゥ	185	\$B9	ケ	201	\$C9	ノ	217	\$D9	ル
170	\$AA	ェ	186	\$BA	コ	202	\$CA	ハ	218	\$DA	レ
171	\$AB	ォ	187	\$BB	サ	203	\$CB	ヒ	219	\$DB	ロ



172	\$AC	ヤ	188	\$BC	シ	204	\$CC	フ	220	\$DC	ワ
173	\$AD	ユ	189	\$BD	ス	205	\$CD	ヘ	221	\$DD	ン
174	\$AE	ヨ	190	\$BE	セ	206	\$CE	ホ	222	\$DE	ド
175	\$AF	ツ	191	\$BF	ソ	207	\$CF	マ	223	\$DF	ド
									255	\$FF	DELETE

※以下の説明はKA9Q Internetソフトウェアパッケージのドキュメントに  
 対しての追加補足説明とご理解ください。  
 くわしくは、KA9Qが作ったKISSコードを使用する該当ソフトウェアのドキュ  
 メントを先にご参照ください。

タスコ電機株式会社製のTNCの内、Release 15-Nov-91以降のファームウェア（ROM）  
 に内蔵のKISSモードの動作は、以下のように変更されました。  
 これらのTNCでは、従来のタスコ電機製のTNCでは、「DISP」コマンドで見ること  
 ができなかった「KISS」の[ON] / [OFF]の表示を、「DISP」実行時に「DISP H  
 」コマンド実行時と同様に、「KISS OFF」と表示が出るようにいたしました。

- (1) 従来のKISSモードの場合は、TNCの基本部分とは別に、独立したKISS  
 コードとして、TAPRのTNC2のKISSコードをハードウェアに合わせる  
 ための最小限の変更をおこなったものをTAPRのROMと同様にROMの  
 最後尾に追加していましたが、新しいKISSモードでは、TNCのコマンドの  
 一つとして、ファームウェアの処理の内部に組み込まれました。そのため、コマ  
 ンド4（TXTAIL）以外のコマンドのデフォルトは「KISS」が[OFF]の通  
 常モードのときの設定値になります。  
 また、KISSモードのときに設定値を変えた場合、通常モードの設定値も変わ  
 ります。  
 （送信に関するコマンドは、「XMITOK」コマンドの機能を除き、通常モードで設  
 定したパラメーターがそのまま、KISSモードでの動作にも影響を及ぼします）

「KISS」が[ON]の場合に、動作に関係のあるコマンドは下記のものです。

```

8BITCONV ON    必ずONに設定してください。
ABAUD    1200
AWLEN    8      必ず8に設定してください。
AXDELAY  0
AXHANG   0
MODE     1200
PARITY   0      必ず0に設定してください。
PASSALL  OFF    必ずOFFに設定してください。
PERSIST  127
SLOTTIME 3
SOFTDCD  OFF
TXDELAY  50
  
```

※「PASSALL」コマンドは、必ず[OFF]に設定してから「KISS」を[ON]にし  
 てください。

- (2) KISSモードのときは自動的にハードウェアフロー制御をおこないません。

この新しいKISSモードは、従来とは異なり、ハードウェアによる完全な  
 フロー制御をおこないますので、ご注意ください。

- (3) コマンド5までは、オリジナルの動作と同じですが、コマンド6の機能が変更  
 され、コマンド7に新たに機能が割当されました。

0	Data frame	コマンド番号に続く部分をデータとして送信
1	TXDELAY	送信遅延時間 (「TXDELAY」コマンドと同じ) 0から120まで(単位は10mS)
2	Persist	パケットを送信する確率 (「PERSIST」コマンドと同じ) 0から255まで
3	SlotTime	「PERSIST」の確率を使って送信可能かを判定する 間隔 (「SLOTTIME」コマンドと同じ) 0から250まで(単位は10mS)
4	TXtail	データを送り終わってからPTTをONしておく時間 0から250まで(default3)(単位は10mS)
5	FullDuplex	0で半2重 (TNC-555は半二重固定)
6	SetHardware	以下参照 「MODE」コマンドや「HBAUD」コマンドがないTNC では、対応する機能は、無視されます。 0～5までは自動的に「HBAUD」の変更もおこな います。対応する内蔵モデムがないときは、外部モデ ムに切り替わりますが、この場合の「HBAUD」の変 更は一時的なものです。  32～71までの中で、TNCのハードウェアで 実現できないものの他に、変更しても無意味なもの も無視されます。  ここでは、TNC-555で使用可能なモードを 明記します。  0           MODE 1200 5           MODE 9600 6           MODE GMSK 7           MODE 2400
7	SOFTDCD	BIT0が0ならOFF、BIT0が1ならON
	ADAPTIVE	BIT1が0ならOFF、 BIT1が1ならON (「ADAPTIVE」コマンド参照)
255	Return (EXIT)	KISSモードを解除しリスタートする

※KISSの仕様の詳細については、KA9Q Internetソフトウェア  
パッケージのドキュメントに書かれていますが、Kiss TNCとコンピュータの  
データのやりとりの基本的約束事だけを簡単に説明いたします。本書説明以上の詳細  
なご質問はご容赦願います。詳細仕様は原文を参照ください。これはソフト技術者向  
けのデータですので専門用語を使います。御了承ください。

1. コマンド番号の上位4ビットは、最大16のポートの切り替えに使用されます。  
そのため、コマンド番号として使用できる最大番号は15です。  
コマンド番号16は、第二ポートのコマンド0に相当します。  
(2ポート以上が同時に動作可能なTNC専用)

## 2. データの区切り ( F E N D )

データの区切りとして\$C0を用い、\$C0と\$C0の間をコマンドおよびデータとする。区切りの\$C0をF E N Dと呼びます。(H D L Cのフラグ7Ehと同じ考えで理解すれば良い)

例えばTXDELAYを30に変更するには、16進数で C0h 01h 1Eh C0h と送れば良いのです。

## 3. \$C0 自体をデータとして送る方法

\$C0 自体をデータとして送りたい場合は、\$C0の1バイトの代わりに2バイトのデータを送ります。

\$DB(FESC)と\$DC(TFEND)を送ると、受け取った側は\$C0として解釈します。

## 4. \$DB(FESC) 自体をデータとして送る方法

\$DB 自体をデータとして送りたい場合は、\$DBの1バイトの代わりに2バイトのデータを送ります。

\$DB(FESC)と\$DD(TFESC)を送ると、受け取った側は\$DBとして解釈します。

## 5. KISS モードから通常モードに復帰するには・・・ (2539行説明文の一部再掲)

誤って、「KISS」を[ON]にして、「RESTART」コマンドを実行したTNCの電源のOFF/ONをした場合には、パソコンから、バイナリーコード

\$C0、\$FF、\$C0

をTNCに送るか、または、ハードリセットをおこなわなければ、通常モードに復帰することができません。

※ ハードリセットは、メッセージボードを含む、すべてのコマンドを初期設定に戻します。

-eof-